滿洲日報

露支の正式會議は一月上旬に延期されん

東鐵當面の諸問題解決のため 支那全權は莫德惠氏

【奉天特電六日發】蔡運升氏は昨年末より病氣療養中であつたが既に快方に向つたので來る八日頃吉林に赴き同地に於てハルビンに到着する豫定であるが、同氏は露支豫備交渉の任務を終了したので今後露支間の交渉は一切莫德惠氏が中心となつて辦理する事となりモスクワに於ける正式會議の首席代表たる事に決定した、莫氏は六日東鐵督辦に就任して二十日以内にモスクワに向ひ出發することになつてゐるが、東鐵當面の問題及び露支連絡等當面の問題を處理する關係上恐らく一ヶ月以後でなければ出發不可能の模様である、從つて今月二十五日開會の豫定であつた正式會議は多少延期するものと見られてゐる

休會明けの劈頭に解散論有力となる

反對黨に質問を許さず

【東京六日發電】政府及び與黨幹部は休會明け議會に於て解散斷行の決意あるに對し政友會では來るべき總選擧の不利を危惧し飽くまで

解散回避 の方針に出で總括的不信任案は固より個々の政策に對しては殊更に攻撃的態度を避け場合に依ては一切の反對的質問をも封じ解散斷行の機會を與へざらしめんとする作戰の如くであるが、政府及び與黨幹部も此點については少なからず頭を惱ましてゐる、即ち民政黨は田中內閣時代の在野黨として當時政府が施政方針演說直後解散を斷行したるに對し其非立憲的措置を詰りたる手前今議會に於ては政府の施政方針に對し一應反對黨の

質問演說 を許すの雅量を示し然る後適當のチャンスを捉へて解散を斷行せんとの最高方針を執つてゐるのであるが、反對黨の態度既に右の如く消極的に出でんとしつゝあるに鑑み之が對策に腐心し政府及び與黨が、かゝる卑怯なる態度に出づる以上強て宋襄の仁を爲し、質問を許す必要もないから二十一日休會明け當日國務大臣の施政方針演說直後直ちに解散を斷行すべきであるとの說漸く有力となつて來た、更に一部には若しどうしても戰略上反對黨の

不信任的 攻撃を必要とするに於ては無產黨方面より休會明け劈頭提出さるべしと豫想される政府不信任案に對し解散を斷行するることも一つの方法であるとの論をなす者あり、其成行は非常に注目されてゐる

財界一部の解散回避も無駄

愈よ解散の機運來る

【東京六日發電】政友會一部の期待してゐた解散回避運動も今日のところ到底實現しそうもないが、只茲に多少解散の暗影をなしてゐるのは財界の一側で

金解禁の 關係上出來得べくんば解散を回避し度しとしてゐることで既に三菱の木村久壽彌太氏は三井の團琢磨氏と竊に會見解散の財界に及ぼす影響につき隔意なき意見を交換したことであり、若し右財界の兩頭目にして解散は成るべく避け度しとの意見に一致し井上藏相邊りに解散回避運動でも起す時は多少政府も考慮をするようになりはしないかと云ふ點であるが、併し時局は既に解散に向つて直進をなしつゝあり財界一部が財界に及ぼしはしまいかと云ふ點にあるが、此の點については全く何等の懸念なきことは歲末の財界狀態に於て保證されて居り、井上藏相も亦此の點に於て確信を有

西園寺公は勿論解散異議無しさ

仙石總裁は前ぶれに反對

松田拓相の車中談

【國府津特電六日發】雨か、風か、形勢險惡を豫想される休會明けの議會を前に西園寺公を興津に訪問の松田拓相は六日午前十時東京發西下の車中に於て語る

今期議會は無論解散だよ、園公の御機嫌かね、公は憲政常道論者だから勿論政府の

態度を諒 せらるる事は疑ひなしさ、政友會は議會解散は金解禁善後策に支障を來たすとか、ロンドン軍縮會議に影響するとか云つて盛んに貴族院や財界や宮中方面を動かし解散回避に努めてゐるやうに噂されてゐるが、それは極めて一部に過ぎぬらしい、議會に臨めば野黨の本領を發揮し

強く出る 事と信ずる、解散の時機、方法については其時に臨まねば何とも斷言できぬ、仙石さんが解散回避論者だとの說があるが仙石さん「解散はよいがその前觸れは餘りやるな」といふのだ、選擧の結果は晩引無しで政府黨二百四十名は動かぬ處だらう

拓相園公訪問

【東京六日發電】松田拓相は六日午前十時東京發興津に西園寺公を訪ひ政情報告の上即日歸京し再度濱口首相に報告したことであるから例へ井上藏相に右種の進言があつたとするも藏相なり首相なりが容易に之に耳を藉さぬは明かであり先づ以て解散回避の策動は徒を絕つたものと見て差支へなしと見られるまでに解散の機運を招來されて來た譯である

無產黨の解散慫慂

【東京六日發電】第五十七議會の解散を最も強硬に要求してゐる無產各派では昨年末來の解散回避運動に注意を拂つてゐたが、休會明けの施政方針演說後政府が解散を逡巡する如きことある時は社會民衆黨首安部磯雄氏自から陣頭に立つて即時解散要求に關する質問を試み一方院外にても各黨夫々即時解散の大衆運動を東京其他各地に開催する豫定である

滿鮮重要懸案を具體的協議

十日過ぎ各首腦會合

【東京五日發電】松田拓相は植民地統治に關する劃期的新政策を遂行すべく種々計畫を進めてゐるが既に具體化しつゝ今春に持ち越された重要案件たる

一、朝鮮の自治權擴張案
二、在滿鮮人保護に關する徹底的方策の確立
三、滿鐵附屬地行政權の關東廳移管問題

の三大案件は何れも永年の懸案であるばかりでなく其の何れの一を實行するも植民地統治並に對滿政策上に新紀元を劃すべき重要案件であるが、此等の重要案件は何れも一月十日過ぎ齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁、太田關東長官等の入京を俟つて愈々拓務省に關係植民地長官會議を開き一齊に具體的協議が行はれる手筈になつてゐる、右の外本年に持ち越された拓務省關係の重要案件中には

一、滿鐵の昭和製鋼所問題
二、朝鮮米の移入統制問題
三、臺灣新竹及び嘉義に市制を布く

問題等があるので其成行注目さる

けふ閣議で審議の選擧廓清委員會

總選擧に適用の意氣込み

【東京六日發電】政府は七日の閣議に安達內相主唱の選擧廓清委員會具體案を上程し審議に決したが其の名稱は衆議院議員選擧廓清委員會と稱し會長に濱口首相、副會長に安達、渡邊兩相を擧げ委員を四十名とし學者、貴、衆兩院議員を網羅するが審議は成るべく急速に運び審議決定の項一、二項目は來るべき總選擧にも適用する意氣込みである

駐支外國軍隊の撤退方を要求せん

內河航行權の回收とともに 支那本年の二大政策

【上海六日發電】外交部は今年中に支那に駐屯せる外國軍隊の撤退を各國に要求するに決定し近く行政院を經て國務會議の議決を求め各國に對し交涉開始方を照會することゝなつた、同時に外交部は各省政府に各地駐在の外國軍隊及び警官隊につき調査すべく一兩月中に命令する模樣である、これは外交部今年度事業中內河航行權回收と並んで二大政策となつて居り今年の對支外交問題の重要な一項目となる模樣である

治廢問題を支那側樂觀

【南京四日發電】國民政府は既報の如く今年一月一日より治外法權撤廢を宣言し司法院に對し治外法權撤廢後の外人訴訟事件處置條令の立案を命じたが同條令は既に脫稿し本日立法院に送附された、同條令は立法院會議通過を待ち直ちに國民政府より公布さるゝ模樣である、同問題に對しては英國側が既に好意を示しランプソン公使が來る八日着京し王正廷氏と治外法權撤廢の方法及び撤廢後の在支英人保護に關する處置につき協議する事になつたので國民政府は極めて樂觀的態度を採り居り米佛其他の各國の反對的氣勢も英國と同一態度を持してゐるランプソンの話さへ附けば容易に挫き得るものと見てゐる、英國が果してイギリスが光榮ある孤立を守るか或は列國を引ずるか興味ある外交戰の幕は切つて落された

佛伊軍縮內交涉未だ協定を見ず

伊は佛と同比率主張

【東京六日發電】先月半の佛、伊軍縮準備交涉にてイタリーは北アフリカが佛伊間紛爭案件の即時解決を條件とし對佛均勢を放棄せんとするものゝやうに見られてゐたが、其筋着電に依れば御膳三十日の佛、伊豫備交涉ではイタリーは依然フランスとの同格を要求し兩國の主張も何等協定に到達し得ず新に持越された、而して正式會議も後二旬に迫り兩國交涉今後の進展は關係國の極めて重要視する所であるが、イタリーは來るべきロンドン會議にては一九二二年のワシントン會議にて決定された對佛海軍比率の變更を提議するの意向は持つて居らぬ模樣にて只佛國の態度にして增艦を主張せば右比率も之に應じて變更し又艦艦縮小の態度に出づれば從つて比率を低下するの用意あると

治廢を中心に對支外交戰

英佛の態度全く反す

【北平五日發電】フランス政府は昨日マルテル公使の名を以て列國に率先して國民政府に治外法權撤廢の反對抗議を提出したが右は佛支條約に於ける正當な權利で一方的廢棄に同意する能はずと明白に拒絕の意思を表示したものである之はイギリスが撤廢承認の立前から商議開始の爲めランプソン公使を南下せしめた事態と兩極端に立つもので歐洲外交の縮圖を見るが如く一方アメリカ及び日本もフランスと全く同一態度を持してゐる

治外法權撤廢は時期尚早でない

胡漢民立法院長談

(Photo caption text:) のと爲し各國との交涉開始を急ぎ其準備に忙殺されてゐる

【上海六日發電】領事裁判權撤廢宣言發せられて以來國民政府及黨部では必死になつて宣傳をやつてゐるが、立法院長胡漢民氏は左の如く語る

列國は支那の統一が成らぬこと、鞏固な政府の成立せぬこと及法令、裁判所、刑務所の完備せぬことを理由として反對してゐるがそれは最早や理由とならなくなつてゐる、即ち國民政府の基礎の確乎たることは列國が國書を捧呈したことで明瞭だし又國民政府は既に民法總則、物權、債權、各民事訴訟法、會社法、商法、保險法、刑法、刑事訴訟法の發布を終つたし、刑務所の改良、裁判所の改造等既に見るべきものがある、今の支那の狀態は日本やトルコが治外法權を撤廢した當時に比し遙かに總て完備してゐる、日本フランス等が若し反對するとすれば全く謂れなきことに屬するものと云はねばならぬ

行政外交兩權の移管は困難

大平滿鐵副總裁談

滿鐵地方行政權の關東廳移管に就ては外務省及び拓務省あたりで種々論議され而も相當熱心のやうに思はれるが地方行政權の移管となれば當然その

管掌中の 病院、學校等も引受けねばなるまい、關東廳が生產的でない病院、學校等を引受けることを果してどうであらうか、假りに移管しても滿鐵から關東廳に對しての納付金の增額は至難であるから病院、學校等の經營に對しては或は困難を免れない狀態になりはせぬであらうか、外交權の移管、それも何處までが外交權か判らぬが滿鐵が鐵道經營上または政府の命令條項たる教育、土木、衛生の

三事業を 遂行する上から必要を生じて土地の買收をなし或は培養線の敷設其他に就いても一つ一つ領事館の手を經て行ふことになれば事業の進行は敏速に運ぶかどうか、實際問題から研究する

廿年餘で創業の撫順の製油工場

廿爐で月に千五百噸出油 全部の完成は三月末

國策的大事業として多年滿鐵が苦心研究せる撫順炭礦のオイルシェル製油工場は昭和三年四月基礎工事に着手以來約一年半を費して舊臘卅日夜遂に設備全く完成し出油を見るに至つたが之にて基礎的研究に明治四十二年以來約十五年、企業化すべく大正十二年以來約二十年で以來約八年、前後約二十年の日子と一千萬圓の巨費を投じ其間滿鐵首腦の交迭を見ること三回に及んだ大計畫は茲に愈々實現を見た譯で山西撫順炭礦長は最初の出油を見ると同時に卅一日電報を以て大平副總裁宛工事完了し無事出油を見るに至つた旨報告し來つたが右に就き大正十二年川村社長時代以來滿鐵囑託として本計畫の實現に盡瘁せる牧野海軍少將は次の如く語る

多年國策的計畫として滿鐵歷代の首腦者並に炭礦當局が苦心された本事業も愈完成の日が來た卅日夜からスタートしたのは十爐で本月五日より六日にかけ十爐を合せ廿爐が出油を開始した譯で現在では粗油の出油能力月額千五百噸に過ぎぬが之は全能力の約四分一で殘餘の分は頁岩破碎機の附屬裝置の完成が遲延した爲め多少遲れて來月一杯に完成三月から全能力を擧げて出油を開始する見込尙ほ出油式は極めて盛大に三月頃行はれる筈【寫眞は製油工場】

滿鐵の新經營法を關係閣僚と協議し決定

きのふ濱口首相と會見後に 仙石滿鐵總裁語る

【東京六日發電】仙石滿鐵總裁は午後二時半首相官邸を辭去したが會見後左の如く語る

今日濱口首相を訪問したのは滿鐵の昭和五年度に於ける新經營方法に就て打合せの爲である滿鐵の新經營方法に就ては關係閣僚全部集つて貰つて然る後具體案を決定したいと思つてゐる其の期日はまだ決定してゐないがそう遠くはあるまい、第五十七議會の解散回避に就いては私と政友會の犬養君と會見すると云ふやうな話があるとも言ふがそんな事は嘘である、然し議會を解散して政略を革新すると言ふが、今度解散したらそんな良い議員が出て來るかね、解散々々と云ふけれども敵が降參して頭を下げて來たのに刀を拔くと云ふ武士道もあるまい

稅制改正に關東廳乘り出す

五年度地方豫算編成に當り きのふ旅順で審議

關東廳の稅制改正問題は多年の懸案であつたが、いよ〳〵遠からずその實現を見るに至るべく、既に五年度豫算に於て

根本的の 改正案を得べく稅制調查機關を設置することゝしたが、これに先立ち關東廳では五年度地方費豫算編成に關連し大勢順應の見地から同年度に於て之が一部改正を斷行することゝした、六日午前十時から神田內務、中谷警務、西山財務各部局長外小川、日下、水谷、源田各課長並に田中大連、西山旅順兩民政署長、安岡檢察官長等出席の上午後四時まで慎重審議する所があつた、而して

その內容 は未だ嚴秘に附されてゐるも根本となるは現在の營業稅年額百三十五萬圓を內地同樣課營業收益稅といふ合理的稅に改正せんとするのであるが、問題は稅率で內地は純收益の百分の二半を課してゐるが州內は內地と從來の事情を異にせるため若し內地同樣の稅率とすれば現在の稅額の半に足らず、かくて現稅入額を基準として稅を課すれば頗る營業者の負擔を過重ならしむることゝなる等頗る徵稅技術の苦心を要するものがあり直に改正は困難である尙

新稅制定 には個人所得稅或は滿鐵への課稅等も行く〳〵は考慮さるゝ模樣であるが目下の財政狀態よりすれば是等は未だ遠き將來の問題とされてゐる

地方豫算會議

關東廳の五年度地方費豫算會議は左記の通りの日程で七日から四日間開會の筈である

七日地方課、殖產課△八日保安課、衞生課△九日學務課、文書課△十日財務課、土木課

尙歸任中の西山關東廳財務部長は廿一日より議會開會にきつき十五日のばいかる丸にて再度上京する由

航空會社

新設問題は關係課所で勿論研究してゐるかも知れぬが滿鐵としていま新設する必要は認めてない研究して置くことは無論必要であらう、傍系會社が多過ぎるので整理せねばならないことについては自分は未だ何等總裁から聞いてゐない

時は相當考慮を要する問題であらうと思ふ、上京中の仙石總裁も地方行政權、外交權の移管について語つてゐられるやうだが研究を要する問題だといつた程度でのお話しではなからうかと自分は思つてゐる、傍系會社としての

吳光新氏赴津

奉天滯連中の吳光新氏はさきに第一、第三夫人を天津に歸したが五日午前八時出帆の濟通丸にて天津に赴いた、同氏今回の天津行は蔣介石を中心に策動せる反蔣派に投じて安福派を中心に策動せる反蔣運動に就いて畫策せんが爲めと傳へられてゐる

人事

▲木部守一氏（日滿倉庫株式會社長）新年挨拶のため六日市內各方面歷訪

▲佐藤敏治氏（大連警察署司法係）灘氏の後任として赴任、六日市內各方面を歷訪、就任の挨拶をなした

▲永田善三郎氏（衆議院議員）八日出帆のばいかる丸にて上京の豫定

▲山田讓氏（關東廳專賣局庶務課長）六日新任挨拶に各所歷訪

安與綿子

滿鐵沙河口工場では昨年末、ボイラーの蒸氣が俄に吹き出して、その前方に作業してゐた、日支工場員が死傷したなど再三不慮の災難が起つたが▲それ以來工場員は言ひ合せたやうに夫婦喧嘩が無くなつたといふ▲それは危險な作業に從事する者は朝には元氣で出勤しても夕べには白骨となつて歸るかも知れぬから健康なうちはお互に言ひたい不平をいはず仲よくしやうぢやないかといふ夫婦の意見が一致したからだとある▲これが眞實の話なら結構だ

滿蒙の支那馬（二）

壯快な蒙古の野馬狩 奇怪なる運命の騾馬

四、蒙古馬

蒙古馬は栗毛及鹿毛が最も多く月毛、青毛之に次ぐ。殊に蒙古馬の特徴としては川原毛乃至月毛等に鰻毛を有する馬匹は、時に明瞭なる鰻線及前後膝關節上に濃色の斑紋を有する事である。而して額面部に於ける毛色の別徵なる星、鼻梁白などは純蒙古馬種馬中には殆ど認められない。

被毛は一體に粗剛で光澤は少ないが密生し、冬期は殊に長く鬣及尾毛は密度大にして長く、時に地上に達するものすらある。その他蒙古馬の特徵を擧ぐれば鬐甲高に對して背高小にして凹狀背をなすもの多く、額面は體軀に比し大きくして鈍重、下顎の發育良好にして耳は長大、頸の發育良好にして頑丈なるも輕快ならず胸部の厚み大にして且つ肋骨は丸味に彎曲し胸幅大きく、胸部の諸關節良好にして蹄は直立型をなし蹄質極めて堅固なるも〆救形の處が多く、胸部に對し腹圍大にして垂腹のもの多く、前軀に比し後軀の發育不良で型體の對照上後軀極めて貧弱である、生體量は牝馬二十頭の平均量二八〇キログラム、牡馬二十頭平均量三一一キログラムである。

五、ハイラル馬

ハイラル馬は海拉爾一帶に產するシベリア土產馬中の優秀馬にサラブレットやオールロフロストプチン乃至コサツク馬を配して改良したもので、伊犂馬に酷似してゐるが、サラブレットを配して改良したものは其型體殆ど亞拉布種と區別し難く、伊犂馬に比して更に品位に富んでゐる。

ハイラル馬の毛色は青毛最も多く栗毛之に次ぐ。毛色の別徵としては額面部に於ける星及び流星を有するものもあつて、尙脚部の下端より蹄部に白斑を有するものもあり純蒙古馬に見るやうな北線部に鰻線を有するものは殆どない。被毛は一體に光澤を有し且つ柔軟で、鬣及尾毛は純蒙古種及伊犂馬に比して密ならず、距毛も亦少く且つ短で多期で十センチ米に達する位、蹄は黑色及暗色のものが多く、蹄質は堅固であるが純蒙古馬に比較すると弱い。

其他ハイラル馬の特徵を擧ぐれば伊犂馬に比して體高は小である が尙純蒙古馬に比して大きく平均鬐甲高一三七センチ米である。改良ハイラル馬の一般型としては寧ろ亞拉布型と稱するよりもサラブレット型に酷似し、型體の特徵は前後軀の對照極めて良好であるが輕快に過ぐる嫌ひあり、殊に前軀及四肢に於てさうである。胸圍の鬐甲高に對する百分率は一一四％で支那產馬中最小であるが、純蒙古馬の缺點たる臀部の貧弱及純蒙古馬及伊犂馬に見る斜尻はハイラル馬に於ては極めて少ない。

六、サンベーズ馬

サンベーズ馬の分布は甚だ廣く從つて同種の馬匹中にあつても繁殖地を異にするに從ひ、多少其型體を異にする。普通サンベーズ馬と稱する馬匹の繁殖地はサンベーズ及車臣汗地方中ケルレン河畔の草地であるが、タラ貝子及前清時代官牧場の所在地たりしタラカンガイ地方に於て繁殖するものをもサンベーズ馬として移出されてゐる。其ケルレン河畔に於て飼育せらるゝ馬匹は型體、能力共に最も優秀で、特に其型體伊犂馬に酷似し胴が稍長いけれども全體の對照が良好で品位に富み、ハイラル馬に比し一哩以上の長距離騎步に秀で、現今競馬場裡に於て長距離競走用馬として著名なる馬匹は多くは此地方の產である。

サンベーズ馬の鬐甲高は純蒙古馬と稍同じく一三二センチ米で鬐甲高に對する體長は一三五％にして純蒙古馬と同じく體高に比し稍引締まれる感あり。被毛は蒙古馬に次で密にして且つ粗剛、密度も極めて濃く、鬣及尾毛は長く且卷縮性し、距毛長く殆ど純蒙古馬と同樣である。毛色は栗毛最も多く二六％に達し鹿毛之に次ぐ。毛色の別徵として濃色毛殊に栗毛馬中に頭星を有するものを見、尙月毛馬に於ては前後の膝關節部に於て最も明瞭で、上下に至るに從ひ不明瞭なる濃色の橫斑を有するものもある、殊に此種の馬は背梁部に濃厚なる鰻線を有し、尙鹿毛及月毛馬は一般鰻線を有す。

定期後場（銀建）

▲大豆（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	六六八〇	六六八〇	六六八〇	六六八〇
二月末	[illegible]	六六九〇	六六四〇	六六八〇
三月末	[illegible]	六六九〇	六六七〇	六六九〇
四月末	[illegible]	七〇二〇	六六九〇	七〇二〇
五月末	七〇三〇	七〇三〇	七〇三〇	七〇四〇

出來高 二百七十四車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕（強調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇
一月末	二三一五	二三一五	二三一五	二三一五
二月限	二三一〇	二三一〇	二三一〇	二三一〇
二月末	二三一〇	二三一〇	二三一〇	二三一〇
三月限	二三二五	二三二五	二三二五	二三二五
四月限	二三四〇	二三四〇	二三四〇	二三四〇

出來高 七萬八千枚

▲豆油（軟り）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一九三〇	一九三〇	一九四五	一九四五
二月限	一九五〇	一九五五	一九四〇	一九四五
三月照	一九四〇	一九四〇	一九四〇	一九四五

出來高 千箱

▲高粱（強保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四四八〇	四五〇〇	四四八〇	四四六〇
二月末	四四八〇	四四八〇	四四七〇	四四七〇
三月末	四四七〇	四四六〇	四四六〇	四四八〇
四月末	四四六〇	四五〇〇	四四八〇	四五〇〇
五月末	四五二〇	四五二〇	四五二〇	四五二〇

出來高 一百四十七車

▲包米（出來不申）

現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六八九〇	六八九〇
出來高	四十車	
普通大豆（袋物・裸物）	六八四〇	六八三〇
出來高	二車	
豆粕	二二〇〇	二二九五
出來高	三萬枚	
豆油	一九五〇	一九五〇
出來高	五千箱	
高粱	四七〇〇	四七二〇
出來高	一車	
包米	出來不申	

後場

・麻袋（出來不申）

・綿糸（低落）

銘柄	約定期	約定値	梱數
藍助	二月末	一七八・二	二〇

出來高 二〇梱

定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	七二四〇	七二一〇	七二一五	七二六〇
遠期	七二四〇	七二一〇	七一〇〇	七二五五

出來高（期近 三百三萬圓・遠期 一千二萬圓）

現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	七二六五	一〇六五	一五四五
二時半	七二三〇	一〇八〇	一五四五
三時半	不申	一〇八〇	一五四五

出來高（銀對金 三十萬八千圓・銀對洋 九千圓）

神戶期米（六日）

品目	後場寄	後場引
大豆現物	[illegible]	六二五
先物	[illegible]	五三五
豆粕現物	[illegible]	一七八
近	[illegible]	三九〇
滿洲小麥	[illegible]	六一一
豆油現物	[illegible]	二〇〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一五〇	一一四六
新株	一〇九〇	一〇一六
五品	不申	一〇三〇
中新	一〇三〇	一〇三〇
先信	不申	不申
卜豆	不申	一〇〇
先新	不申	不申
中豆	不申	一三二
先	不申	〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	六九一〇	六八九〇
大新	五五九〇	五五八〇
鐘紡	二八〇〇	二七〇〇
日新	九四二〇	九三九〇
鐘糖	不申	不申
郵船	不申	不申
東新	一〇二四〇	一〇二一〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
一月	一八〇〇	一七六〇
二月	一七九〇	一七八〇
三月	一八〇六	一八〇〇
四月	一八二九	一八二三
五月	一八四五	一八四五
六月	一八五三	一八五七
七月	一八六〇	一八六四

滿洲日報

治外法權問題
政治的に取扱ふは危險千萬

昭和五年の支那、例によつて問題の多かるべきを豫想せしむるものがある。内政においても、また國際外交にありても、決して平穏無事ではなさ相である。舊臘來、早くも治外法權の撤廢問題が吾人の耳朶を打ちつゝある。

反蔣運動に打勝ち、ともかくも國民政府の當面を維持することに成功した蔣介石、王正廷氏らとしては、何が何でも、この際、例の治外法權問題を提唱し、對內實臘の際を對外的に導くことが急務である。すなはち、何を措いても民衆の注意を、對外政策に向はせる必要がある。その對內對外政略の經緯に利用されることになつたのが、今次の治廢問題である。

然るに米、佛、伊、蘭などは最も强硬に反對の態度を示しつゝあるといふに拘らず、獨り英國のみが拔斷的に、國民政府の主張に同情を有してゐるといふ。が併し、吾人を以てすれば、英國の態度は餘りに政治的、政略的であることに危險を感ぜざるを得ぬのである。

そも〳〵治外法權問題の如きは、これを餘りに政治的、外交的に取扱はんよりは、寧ろ法律的に、地味に取扱ふべき性質のものではあるまいか。換言すれば、支那の實情に適應するやう、專門的に、これを裁定すべきものではあるまいか。殊にイギリスの如く、不文律を以て誇りとするほどの國家が、支那における、その國民の生命財産の保護を、演繹的に、抽象的に形づけんとするが如きは、全く吾人の怪訝に堪えぬところとせねばならぬ。不文律の本國民としては支那の社會事實に立脚し、歸納的に、その實情に應じて、立法的事項を取扱ふべきが、寧ろ本筋ではあるまいか。然るに、餘りに外交的に、また餘り政治的に、この重要なる對支立法事項を形づけんとするがゆゑに、吾人は英國の對支政策を以て、餘りに政略的なりと斷ぜざるを得ぬのである。

勿論、治外法權といふが如きことは、完全なる國家主權に對していはゆる不平等の條約であらねばならぬ。かくの如きものの撤廢は理論として當然に斷行せねばならぬ性質のものである。併しながらそは國家主權が、完全に整備せられ居ることを前提としての理論であらねばならぬ。

然るに支那の現實は如何。南京の國民政權なるものが、中央政府として形式を具備してゐる次第であるが、その名義上の中央政府なるものも、常に動揺を餘儀なくせられつゝある現實ではあるまいか。最近、報道せられ居るところによれば、蔣介石氏の地位は、あるひは閻錫山氏に讓渡せられねばならぬのではあるまいか。かくの如き中央政權に、果して治外法權を撤廢せよと大言壯語し得るの資格があるであらうか。

その上、この支那の治安といふものは、果して完全に維持せられつゝありといふことが出來るであらうか。その治安保持が、今日の如き實情を以てしては、如何に冒險的精神に富めるイギリス人といへども、その生命財産の保護を、支那の主權に委託して以て安閑たり得るであらうか。

それにまた支那にありては、在外人の治外法權を撤廢するだけにその法規、制度が完備してゐるであらうか。これまた大に疑はざるを得ぬのである。戒嚴令は、殆ど年中行事として公布されつゝあるのではあるまいか。蔣介石氏を首め軍閥の頭目らは、自分の勝手次第に、その國法をも改訂することを平氣で斷行しつゝあるではないか。立法機關も、軍事機關も、行政機關も、また司法機關も、混沌として差別のないやうなところに、一度でも完全な法治國の生活を營んで來た文化人が、この土匪、黨匪、軍匪の横行跳梁する支那にありて、治外法權なしに居住するといふことは、何としても我慢の出來ることではあるまい。

勿論われ〳〵も、南京政權の人々が、完全なる近代的國家の屬性としての不平等條約たる治外法權の撤廢に焦慮しつゝあることに對しては、滿腔の同情を表するものである。殊に吾人は、この治外法權の存在に不快を感じた體驗を有するものであるから、なほ一層の同情を有する。併しながら、物事には順序があり、如何なる理論もその理論を實施し得るだけの地均しを必要とするものである。支那の現狀には、その準備、地均しが一つも出來て居らぬ。而して小兒病的に、性急に、治外法權の撤廢に焦燥しつゝあることは、却つて國際政局を混亂と紛糾に引き入るるものではあるまいか。

紛爭解決後の東鐵新陣容
半歳目に國境開通す
新役員四日から執務

【ハルビン發】一九三〇年の新春を迎へた東支管理局及理事會は六ケ月に亙る久しい紛爭もサラリと水に流して和氣靄々たるうちに露支陣容を改め愈々東西兩國境の開通をみるに至つた、管理局にては卅一日の理事會に於ける新任ロシヤ側正副管理局長の就任に伴ひ各課長の任命をみたので同日簡單な挨拶あり、四日から初めて執務したが、今回改正された各課の首腦はれは

管理局長ルドウイ、副局長デニソフ、郭崇熙、秘書ワシリエフスキー、通譯ネチヤエフ、運轉課長カリーニン、線路課長蔡闢次長フリケウイチ(一時代理としてフエリヂエングラルト)業務課長ウイトフ、次長ドルリーフ、材料課長ブージン、次長イワノーフ、會計ベカルスキー、次長コールフ、總務局秘書ワシレフスキー、電話課長ザテプレンスキー、獸醫部メンチエルスキー、衛生課長ウエリク、商業部イシチエンコ、次長劉、觀測所パフロフ、經濟局イリチユーン、メーテイン、露支交渉局蔡運升、ネチヤエフ

理事會は現任理事として支那側郭、顧維、王洪身、李少庚、ロシヤ側シマノフスキー、イズマイロフ、ダニレフスキーで、支那側范其光ロシア側エムシヤノフ、エスイモンド兩氏の後任は現在の處未定である

東は露、西は支
保線運轉の責任分擔
舊臘各課長を任命す

【ハルビン發】ルドウイ新任東支管理局長は一千九百廿九年十二月三十一日附を以て東支管理局各課の課長及び次長を左の如く任命した旨を布告した

▲總務課　エム、エフ、ワシリエフスキー、次長張明哲
▲經理課　課春エチ、エ、ベカルスキー、次長高恩陶(ベカルスキー着任前はコートフ氏が執務する)
▲汽車課　課長カリーナ、次長袁維華、秘書サハルチエンコ、支那側の責任者としては袁維華、唐士濟、事務取扱ウオイトフ
▲電話課　課長エ、エ、ザテプリンスキー、次長史宣
▲材料課　課長ビ、シ、ブジーナ(ウ、シ、イハノフ氏が課長代理)次長關裕晋
▲商業課　課長エ、イ、イシエチエンコ、次長崔春煦
▲經濟局　局長エヌ、デ、カーチン、次長伊里春
▲線路課　課長蔡光助、次長イ、エヌ、ヒリソウイチ
▲土地課　課長フエリジエンガルトウイン
▲露支交渉課　課長蔡運升、次長ネチヤエフ
▲獸醫課　課長エ、シ、メシチエルスキー

尚東支西部及東部兩線の保線課長として東部線にエ、テ、ワシリーエフ、次長ワホススキー、檢査係長劉氏等が有力なる候補者に擧げられ近く公式に發表する筈であるが

第一區長ソユイ、ピン、錢(支那人)第二區長マモントーフ第三區オレーゴフ第四區ゲトネンコ　第五區セーレネツ　第六區シヤトコフスキー　第七區オストロフスキー　ボクラニーチナヤ驛長エフ、ゼーシコハルビン中央驛長イ、ケブレデユーク氏が任命されロシヤ側としては東部線に力點を入れ各區及主要驛長はソウエート國籍人をもつてすることになつてゐる、從つて西部線は支那側の勢力範圍により擔任せしめることによつてみると今回の露支交渉解決の結果東支の東西兩線を東部はソウエート西部は支那側に保線運轉の責任を分擔したことになる

南征雜錄(71)
難波勝治

遺された舊蹟

彼れ粤の富源に取卷かれ、これ粤の商工的文化を有する廣東も、名所として特に遊客を驚嘆せしむべき者は少ない、華林寺、陳氏書院、光孝寺、花塔、光塔、海珠公園、懷聖寺、滴水巖、觀音山、七十二烈士墓といつた遺蹟は、案內者の第一に數へ立てる建築物であるが、何れも

大廣東の 名を實證するほどの輪奐が整ふて居らぬ、否其等の多くは曾て絢爛の美を誇つた者であらうが、時代の變遷につれて大部分倒壞し朽滅して居る、殊に革命以後の寥寥振りは甚いやうだが、その中華林寺の羅漢堂、陳氏書院、花塔、觀音山の鎭海樓など、僅かに帝政時代の面影を髣髴せしめる片鱗であらう、私を案內した旅館の支那ボーイは、懷中物御用心と忠告しつゝ細い長い石疊の街を通り拔け、先づ華林寺の境內に私を連れ出して呉れた、寺院とは名のみで

荒廢目も 當てられず、羅漢堂の附近も塵埃が堆積して、牛溲馬勃の臭氣は紛々鼻を衝く、本堂閉め切つてある戸を叩いて堂內に入ると、兩分に並ぶ無數の佛像は流石に當時の壯觀を偲ばしめる、痩せた僧侶が愛想好く迎へて手眞似で說明したが、マルコ・ポーロの像前に辿り着くと特に其名を呼んで紹介する、併し通光の惡い爲に何となく陰慘な氣に充ち、急ぎ足で一廻りして外に出るとホッとする。陳氏書院は中世以後移住した

漢民族中 の有力者陳氏の宗廟で、一千八百九十年十萬兩を投じて建立されたといふ、裝飾及び彫刻が頗る精巧で、廣東美術の粹を集めた者と稱せられて居る、花塔と光塔は共に史蹟を語る古建築物だが、前者は寺門に掲げた東坡の扁額を以て知られ、後者はアラビヤ人の手法を遺す處に特色がある、併し何といつても雄渾壯大な建造物は觀音山の鎭海樓で、粤秀山の一角に屹立した五層の樓閣である、其處から眺めた南西平野の展望は、脚下に廣東全市を下瞰し、大江あり、遠山あり

黃埔港邊 帆影の點々見するなど、蓋し此地第一の勝地といふべきであらう、最近の名所は七十二烈士の墓で市の東郊黃花岡にある、宣統三年三月二十九日突如總督府を襲擊した一團の革命志士は總督張鳴岐の心膽を寒からしめたが、衆寡敵せず遂に目的を達成し得なかつた、その時の戰死者七十二名、革命後碑を埋葬地に建て遺功を旌表したのが之である、墓域の樣式には聊か不揃ひの憾あるが、簡素な中に莊嚴の趣きを現はし、孫文始め國民黨諸名士の題字や碑銘が刻まれて居る

總括して いへば廣東は遊覽に乏しい土地だが、何となく市全體に活潑の氣が漲つて居る、片つ端から舊物が破壞されつゝも、未だ新しい時代の基礎は樹立されて居らぬ、革命は廣東に新生氣を鼓吹したが其生活振りは依然舊支那の面影があつて、その住民の大部分は無智の狀態に置かれて居るやうだ、隨つて動搖が止まない、不安が絕えぬ、全支那の舊分子を敵として起つた國民黨が、屢々其發祥地の秩序維持にすら困難して居るのは何故だらうか

勿論其處 に各種の複雜な政治的原因はあるが、私は主として南支那の地理的事情に起因すると思ふ、革命直後の支那は舊式軍閥の割據に任せたが、そうした無數の舊軍閥が倒潰すると、新たに鄉土的に利害の一致しない政派の暗鬪が始まつた、それが統一の障礙を前にしての支那の惱みであり又廣東派と廣西派が相對峙して廣東の爭奪に狂奔する所以でもある

【寫眞は觀音山の鎭海樓】

吉林の有望事業
誘導生

大連其他滿鐵沿線に於て奮鬪努力せんとするも職を得る能はざる人々に告ぐ、吾等は暫く菓子屋に奉公し其製造術を會得すると同時に多少の金錢を貯蓄して宜しく奧地吉林に入て菓子屋を開業せらるべし、徒手空拳にて滿洲に出動して手に專門職も無くして土着せんとするには此位の奮鬪努力は是非共必要であり、之すら厭ふなれば土着して獨立生活の出來ぬのは自業自得と云はねばならぬ怠慢の結果として當然である、吉林は人口十五萬の大都にして電燈電話水道有り健康地にして風景絕佳なるのみならず滿鐵沿線より尚一層安全であり現に日本人は官民を合せて一千名も居るのである、而して近頃は漸く支那人の生活が向上し來つて日本の菓子を好む者が增加しつゝあるのである。

日本の貨幣と支那貨幣との相場を比較すれば前者は年々高騰し後者は年々暴落する、從て菓子の原料は驚く可き廉價と成れるに係はらず菓子屋は皆日貨建にて賣り然かも緊縮節約物價漸落の世の中に彼等のみは知らぬ顏の半兵衞をして十年一日の如く大正八九年頃の好景氣時代と同一價格を維持して益々繁昌して金を殘しつゝあるのである今頃斯かる割良き營業を他に見出す事は出來ぬのである關東州や滿鐵沿線に膠着して滿鐵消費組合などを氣にし滿蒙發展が出來ぬなどゝ愚痴をこぼす意氣地なし商人も宜しく吉林省城に進出して菓子屋を開業せよ、然らば思ふ存分儲けて大に財を積み得ること確實である

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

正月の上海見物
雨中自動車を連ねて
大連からの百五名

甘酸つぱい友人達のサヨナラを聞いたのが一九二九年で、新らしく友人に持つた上海のモボから「新年進步」の眞赤な賀狀を手渡されたのは正に一九三〇年である、かくてツーリストビユロー主催の上海寄島見學團一行百五名は、憧がれ多く

望み豐かな 上海の地に「おめでとう」の言葉を云ひ交した、上海と云ふ所は？恐らく誰もが一樣に口に出す最初の言葉であらう、旅行團一同は此アンサーを出すべく限られた短日時の間に夫々耳と目を極度に緊張して上海の街を走り廻つたものだ四年の十二月三十一日正午あくどい揚子江の水を眺め乍ら滿鐵埠頭に橫付けられる、爆竹の音が南支らしい晴やかな響きを中空に轟かす、自動車二十餘臺が一同の爲に待ちもうけられ、乘車と共に洪水の樣な勢で先づ上海の街に滑り込む、かくて一同は四班に分れ市中の

一流旅館に 宿泊する、ヤマトホテル、八代館、江星館、辰巳館の宿所に宛られた旅館ではこの昭和五年度最初の團體に特に敬意を表し、飛んでもないもて樣、上海の除夜、それが如何にエキゾチックでうら悲しいものか、枕頭にしたいよる江に滿ち〳〵た船からの汽笛のボウ〳〵と云ふ音だけでも解るであらう、元旦、生憎ジメ〳〵した雨だ、蓋し慈雨と云ふ奴か、豫定のプログラム通り、虹口マーケットの材料豐富な有樣を最初に見て、ニユヨークを想はせるバンド通りに出る何れも偉大な

輪奐の美が 立並んで各國の國旗が朝風に飜つてゐる、一同はこれに「やあ英國が斷然勢力があるぜ、少し大きな建物は大抵英國旗で飾られてゐる」そして一同は大連汽船、商船、正金、郵船國際等の建物に飜へる日の丸の旗に感激したものだ、一同ほにしと降る中を外人墓地から競馬場、デスフイールドをめぐり車輪を郊外に延ばし東亞同文書院を訪ひ、返路マゼスチツクホテルにおける大汽の招宴にまねかれて如何にその

建築が立派 であるか一同は思はず廊下に映つた影に驚かされたものである、だがこのホテルも巷間傳えられるところによると二百四十萬兩で蔣介石の手に移つたと云ふ、けだし蔣介石隱退後のかくれ家か？一同二日は自由行動二日の朝奉天丸で有意義な旅を終り歸連の途についた【寫眞はマゼスチツクホテルにおける一行の記念撮影】

社民黨の總選擧對策

【東京六日發電】社會民衆黨では五日午後四時より芝の本部にて總選擧對策委員會を開き赤松、島中、爲藤、松岡、小池の各委員出席し左記事項を決定した

一、各無產黨と選擧協定を行ふ
二、議會解散の要求並に選擧運動に關する內務省令改正に對する抗議に就て一月七日全委員は內務大臣其他主務大臣を訪問
三、選擧爭基金を黨員一名につき十錢以上を徵收すること

解放された露人の喜び

【ハルビン發】松浦鎭から解放され自由の天地に陽光を仰ぎみた二千名のソウエート人等は四日午前から勞働公館に詰めかけたので、ソウエート領事館はさながら黑山の人で遂に入口廣場も身動きもならぬ程の群集である、彼等はいづれも七月來よりの俸給を受け取るために集つたものであるらしいが喜色滿面に新らしい靴や外套を着てる者もあり非常に元氣であつた

滿日地方版

奉天

竣工した奉天觀測所
一日から事務を開始

昨年五月來新公園東北端に工費五萬圓を投じ建設中であつた關東廳觀測所奉天支所は同年十一月竣工し、その後觀測所條令規定により本年一月一日から十二月末日まで新舊兩廳舍の比較試驗觀測を行つてゐたが、滯ほりなく終了したので卅一日まで全部新廳舍に移轉し五年一月一日午前零時を期して新廳舍で一切の

事務を取扱 ふことになつた、猶奉天觀測所の沿革は大體左の通りである

日露戰爭當時滿鮮の氣象を觀測する觀測所の設置に迫られ中央氣象臺臨時觀測支所なるものが明治卅八年四月奉天城内大東邊門にあつた清國禮部所屬堂子廟と稱する所に設置され同年五月一日事務を開始したのが抑の始まりである、その後同所が清國に還付されることになり四十一年四月現在の高女校附近に移轉された大正五年七月郵便局が浪速通りに設置されると同時に現在の日吉町に移轉したものである

その當時は 中央氣象臺第八臨時觀測所と云はれてゐたが卅九年九月都督府設置と共に都督府觀測所と改稱され四十一年官制發布によつて關東都督府觀測所奉天支所と改められ更に八年關東廳官制施行と共に關東廳觀測所奉天支所と改稱され今日に至つたものである

因に新廳舍は總坪數千三百三十坪延建坪三百坪高さ七十尺である

「熾仁親王行實」を高松宮家より下賜
奉天圖書館の光榮

舊臘三十日突然東京の高松宮家から直接當地の奉天圖書館に對して宮家に於て御編纂御發行になつた「熾仁親王行實」上下二卷の大冊を御下賜になる旨の御沙汰があり同時にその現品が到着した、宮家は一般に知らるゝ如く熾仁親王殿下の有栖川宮家の

祭祀を嗣 がせ給ふた御家柄で、今度高松宮妃とならせ給ふ德川喜久子姫の母君實枝子の方は有栖川宮家から故公爵德川慶久氏に御降嫁にならせられたので、高松宮家に於かせられては御因緣淺からざる熾仁親王殿下の詳細なる御傳記を御編纂になられたもので今回宮家の特別なる思召で奉天圖書館に御下賜になつたものと拜察されてゐる、之に就て衛藤館長は

圖書館のことですから隨分色々な方面から高價な寄贈書を受けることがありますが、今度のやうに尊貴な方面から難有い御下賜品を頂いたのは始めてです、明治の大業の

柱石であ らせられた有栖川宮熾仁親王の御一代記は即ち明治興國史の最も高い表現で上下二卷に滿載された尊い御記念品の御寫眞、明治元年に明治大帝より賜つた御震翰を始めとしていづれを見ても民間學者の手の及ばぬものならざるはなく、表紙は金色燦然たる宮家の御紋をリリーフにし題簽は德川實枝子の方の御揮毫に係り、高松宮殿下の御題字が卷頭を飾つてあります、この御下賜品によつて新春匆々當館の藏書に光榮を添へたことは申すまでもないのですが、それにしても斯る異域の邊陬にある眇たる小館がどうして宮家に聽えたのか誠に恐懼に堪えないところであります

を謹話してゐた

十萬圓の拐帶犯人
押送し來る

大正十三年正隆銀行奉天支店出納係勤務朝鮮人李種元（?）は邦人某と共謀して行金十萬餘圓を拐帶逃走し爾來當地警察署は各方面に手配りし兩人の行方を嚴探中であつたが、李種元は惡運盡きて昨年十二月天津に於て遂に逮捕さるゝに至り一日總領事館警察署に身柄を押送され目下嚴重取調中である、共謀者邦人某は尚逮捕さるゝに至らず搜査中である

鐵道警護懇談

滿鐵では來る十三日から奉天、安東、公主嶺の三ヶ所で鐵道警護懇談會を擧行することゝなり滿鐵、警察、關東廳、軍隊其他の關係者が參加する筈である、場所及時日は左の通りである

△公主嶺（小學校）十三日午前十時△奉天（滿鐵俱樂部）十四日午後二時△安東（公會堂）十九日午後一時

尚安東に於ては森岡、柴山兩少佐の支那時局に關する講演がある由

竊盜露人逮捕

カール、アフグーネストウイッチシューレッツ（三一）といふ住所不定の浮浪露人は三日夜十時過ぎ泥醉した上加茂町方面で赤皮靴一足、黑皮靴編上靴一足を竊取し、西塔の朝鮮料理店前をウロついてゐる所を警官に誰何され取押えられたが、取調べの結果何處の家で盜んだのか自分でも覺えないといふ呑氣さである、靴は警察に保管してゐるから心當りの人は屆出でられたいと

哈爾賓

露支避難民を無料で診療
赤十字社の後援で
我總領事館の美擧

露支紛爭の餘沫を受け家は燒かれ衣類、家財は支那兵のために掠奪されブハト以西の露支人避難民約三千五百餘名は僅に露命を繼ぐためにハルビンに脫れ來り救護を受けてゐるが、八木總領事は最近彼等避難民のうちに重病に罹り醫師の診斷は素より藥餌さへ得ることができぬ哀れな狀態にあるので日本赤十字社及滿洲支部の援助のもとに無料診療をすることになつた、これを聞き傳へた彼等は非常に喜んでゐるが尚一月五日には第二回の斷食祭を行ひ寄捨により彼等を正月氣分に浸らしめやうと在哈ロシヤ人間では各新聞社が率先し運動をしてゐる

ダリバンク開業
從前の通り

支那官憲のために閉鎖されてゐたダリバンクは何市政局長の懸迫で臨時淸算委員會が組織され職務員に對する殆ど拘束的の處置を執つてゐたが哈府の交渉により愈々從前と同樣開業することになり本年早々キタイスカヤの舊家屋で事務を執ることになつた

海拉爾の狀況

ハイラルの狀況に就き同地から來哈した一露人は語る

ハイラルは廿三日まで露軍が保證占領してゐた、約一千名の軍隊で司令部は其れよりも早く引揚げた、廿四日は露軍代表の惜別宴が催され席上司會者はソウエート聯邦とコロンバイルの經濟的協調を說き兩民族の親善關係を高唱した、露軍の撤退後ハイラル市の秩序は蒙古人の巡警により警戒されてゐる、コロンバイル青年黨の獨立運動は相當根强いものがあり、蒙古活佛の勢力も漸次衰退の傾向にある

東鐵の祭休日

東支鐵道にては一九三〇年の祭休日を左の如く決定した

一月二十二日レーニン誕生日、二月革命記念三月十二日、五月一日、九月三日奉露協定成立、十月革命記念十一月七日

松江餘滴

大連からの時信だと協報と云ふ新聞が十一日の記事▲井底の蛙で勿論反駁する程の價値はないが、マルデヒステリツクに罹つた女のやうだ▲これではガンと一東支鐵問題でロシヤからガンと一喝喰はされたのも無理はない▲自制と自覺のない衆生は濟度しがたい▲黃泉の孔子も五千年後の民衆が依然として變らぬに號泣してゐることだらう▲「緊縮だよ君、加藤總裁に聞いて呉れ給へ！」と緊崎鮮銀君の說明▲ナール鮮銀も緊縮整理のうちに齷いてゐると思ふたら▲支那側六十餘名を招待して一夕の懇親宴▲金を貸して御馳走する處に節約の意義がある▲緊崎君の眼光も稍細く闊くなつたのだらうと町の噂▲東部線が開通して浦鹽同時產が出廻るとなれば今度はゴストルグでも招待し金を貸すことだネ▲滿洲に於けるイヤ北滿にある鮮銀支店はこれで能事終れりと云ふものだ▲急がしい師走のくれも過ぎた▲悠くりやることゝ▲其ればかりならまだしも哈大洋の舊票を新票と交換する便宜をはかつたまでは見事だつたが▲一日の交換高が一定せぬ上に愈々取扱つてみると二名の行員が其れがため手が放せない▲其れに一日四五萬元を手もとに置いてゐると金利が損▲これでは困りましたからと今後は一切取扱ひませぬとペチヤンコになつた▲金利を最初から計算せぬ銀行屋さんは緊崎君だからだらうと當局方面での話

日蒙親善の叫び
青島　吉田辰秋

滿洲には理窟に合はぬ流行のコントラストがある。支那側に「排日運動」が流行的に示威せらるゝ反面に、日本側には「日華親善」が高唱せられる。

どんな偉い 人でも、滿洲では「日華親善」を叫ぶことが流行のようにせられてそれを旺に繰返すが、この二つを對照して見ると誠に妙なものである。支那人が排日運動をやることに向つては勿論直ちにそれを非であるといひ得るが、日本人が日華親善を叫ぶのに對しては、恐らく支那人と雖もそれを非難することは出來まい。それだけこのコントラストには支那側の不誠意がハッキリしてをる譯である。このこの支那側の不誠意についてはあらゆる日本人が不快の觀念を抱き、その覺醒を呼起すべき何等かの方法を考へる點であるが。

その意味に 於て私は「日蒙親善」の叫びを擧げたい。元來日華親善といふのは日本と漢人種との關係で、經濟觀念には過去幾千年來の永い歷史的轉戰から世界一といふ鋭敏な頭腦を持つ漢人種に向つて、近世漸く經濟的に發展した日本が經濟提携を結ばんとし親善の實を得ようとすることは、譬へば懷刀を抱く阿婆擦れ女に戀を囁くようなものだ。若し利害相反する時は忽ち懷刀を閃かして抵抗するは當然のことで日本としてみれば、その阿婆擦れを抱擁することが眞の親善かも知れぬがしかし眞性の戀を植ゑ心底に

誠が生れる ように仕向けることは可能なりや否やだ。日本は今や世界一の好男子である。文化、經濟、生活各方面に異常の發達をなし押しも押されもせぬ男振りだ。支那は老大國と雖も國民的に見れば教育、政治其他總て未だ蒙昧そのまゝでその女振りは醜い。そこで日本の男振りに命懸けの戀をしてゐるものがある。それは又天下稀に見る不別嬪ではあるけれど。蒙古は教育が無く無智であるから利害の觀念に薄い、牧畜と生活は生存競爭の圈外に立つてゐる喇嘛佛で日を送り、蒙古民族を宗教的に統一しつゝある喇嘛も、遂年

各地族長の 漢人化によつて經濟的に壓迫せられて行くばかりである。一面に非常な勇猛心があり武力的に優者であるのも經濟的に壓倒せられて漸次滅亡の厄運を促進しつゝある。この蒙古はその救濟を漢人種以外に求めてゐる點が、どうして日本人の耳に入らぬのであらう。日本が日華親善を高唱する根據が眞に東亞平和の爲めであることに自覺するならば東亞平和の爲めに蒙古民族が叫ぶ聲を、もつて親切に傾聽せなければならぬ。それが不別嬪であつても、その點に思ひ及ぶ時は

肱鐵砲をくわ す譯にはゆくまい。迚も眞性の戀が成立しそうもない日華親善を高唱する前には、それよりも日蒙親善の聲が何故日本人に叫ばれないのか。日蒙親善が圓滿に成立し進行する時は、日華親善は支那の方から政治的にも經濟的にも、必然興るといふ眞理が、今迄の方面にも等閑にせられてゐるのは不思議なことである。滿洲の人々に殊更「日蒙親善」の叫びを擧げて貰ひたいと思ふ。

長春

里見志賀兩氏

小說家里見弴、志賀直哉兩氏は三日朝來長、同日吉林往復同夜哈爾賓に向けて出發したが、兩人とも支那服に身を包み滿洲の寒さに屁古垂れてゐた

奉天記者團

は舊臘三十一日朝來長直ちに哈爾賓に赴き二日歸長三日吉林往復、ヤマトホテル一泊四日夜長春で解散した

富士町にボヤ

正月匆々二日に富士町四丁目と羽衣町一丁目にボヤがあつたが損害は輕微である

撫順

正月の殺人騷ぎ
支那人滅多斬にさる
原因は賭博の結果か

三日午前六時目出度き春に反きて血腥さき慘殺事件が撫順に於て突發した、場所は新屯苗圃附近本溪湖の直隷生れ李某（二…）が支那刀樣のもので顏面其他を滅多斬りにされ悶死してゐた、急報に接した撫順署員臨時付調査の結果同所は足一歩で管外である事判明犯人其他不明のまゝ引揚げたが原因は賭博の果ての兇行らしい

消防出初式
六日擧行

撫順に於ける恒例の消防出初式は六日午前十時より華々しく擧行された、定刻まづ松本消防隊長の指揮のもとに本部隊員一同消防隊車庫前に整列寺田署長の點檢、諸器具檢查ありて放水ポンプ自動車器具自動車その他數臺打連れ警鐘を打鳴らしつゝ火消姿も勇敢に全撫順を一巡、それより豫て工務事務所の手でしつらへたる驛前廣場に於ける六十數尺の高さに急設した提灯落の放水試驗を行ひ右終つて本部に於て祝宴に移つた外に古城子坑その他十個所の消防隊も各部署に於て出初式を行つた

開原

出初式
四日擧行さる

消防出初式は恒例により四日午前十一時消防隊構內に於て擧行された定刻構內に整列し人員服裝並に器具點檢の後村田署長の訓示並に川崎所長の訓示遠藤監督の挨拶あり、同隊樓上に於て開宴遠藤監督の同隊取扱事項の報告並に佐竹地委議長來賓を代表して祝辭あり宴に移り午後一時頃散會した

鞍山

山本浩氏遂に逝く
爆破の犧牲者

大孤山採礦爆破の大椿事の際重傷を負ひ鞍山醫院に入院加療中であつた山本浩氏は遂に三日死亡したので四日午前十一時より葬儀場に於て採礦總局葬となり所長各課長局長の弔辭續いて同窓生總代水津利輔氏の弔辭あり盛葬であつた

盛大な新年宴

鞍山製鐵所長千秋寬氏は五日午後五時より敷島町實業協會堂に於て林所長、松木署長、井上局長、太田驛長、加藤協會長、間野院長、矢澤、日向兩校長、地方委員、區長等を招待し盛大なる新年宴會を催した

中木氏離鞍

關東廳の異動に依り辭職した元鞍山警察署保安係主任中木三次氏は五日午前九時二十一分發列車にて林所長、松木署長、加藤協會長、其他官民多數の見送りを受け朝鮮經由鄕里に向ひ離滿した

福運者は誰か

鞍山輸入組合主催の舊臘大賣出しの福景品

二十三日	三三二三號
二十五日	四四〇三號
二十八日	五三四七號
二十九日	五八二三號
三十一日	四〇一四號

白米五俵が今日まで引換者がないので當局は困つて居る、當籤者は七日迄に引換せぬと無効になると

大石橋

龍攘虎搏の猛鬪
觀衆の血を沸かした
在鄕軍人會支部武道大會

在鄕軍人會大石橋支部の銃劍術並に軍刀術の競技會は五日午前十時より滿鐵俱樂部道場に於て催された、遼陽以南瓦房店に至る各分會の選手總員四十八名來賓其他百餘名整列するや高木支部長は挨拶を兼ねて試合に關する訓示を爲し、國司少佐審判委員長となつて試合を開始午後十二時三十分各分會一般競技は終つたが優勝選手權を得たのは左記諸氏であつた

銃劍術　（鞍山分會）白井計八外二名（遼陽分會）江頭鐵男外一名計五名。

軍刀術　（遼陽分會）德臣豐次郎（鞍山）荒川好一（瓦房店）楠原金一

晝食後同一時より優勝選手の決勝戰を開始各分會の役員選手は勿論參列者一同極度の緊張裡に銃劍術の猛烈なる大接戰に鑛火迸ばしるの感を深からしめたが結局左の成績となつた

銃劍術　▲一等（鞍山）白井計八▲二等（遼陽）江頭鐵男▲三等（鞍山）市川甚四郎

軍刀術　▲一等（遼陽）德臣豐次郎▲二等（鞍山）荒川好一▲三等（瓦房店）楠原金一

次いで午後二時三十分賞品授與式を終り公會堂の宴會に移り高木支部長の講評を兼ねての挨拶、來賓代表河內事務所長の挨拶あり伊藤地方委員會議長の音頭に和して大石橋支部の萬歲を唱へ國司少佐の發聲に各分會の萬歲を三唱し午後四時解散した

遼陽

婦人會互禮會
七日偕行社で

遼陽木曜婦人會（改め遼陽婦人會）では七日午前十一時から偕行社に於て新年互禮會を開催すと會費七十錢服裝は銘仙程度と云ふ申合せである

警察署員互禮會

遼陽警察署員は二日三日の兩日に亘り振武館に於て新年互禮會を催した

人事

▲菊池警部（遼陽署）は舊臘三十日着任三十一日山田高等係の東道で各所歷訪

吉林

實現した副領事增員
二月頃着任

吉林の如き對支重要地の總領事館に從來副領事の設けなきことは甚だ不合理であり、歷代の總領事よりも屢々本省に申請されつゝあつたのであるが、本省に於いても各種の關係で今日迄實現を見なかつた譯であるが、今回愈々舊臘二十八日附で副領事長岡半六氏に吉林在勤を命ずる旨發表され茲に多年の願望が達せられたのである、因に長岡副領事は明治二十五年生れ岩手縣の人で同文書院商務科出身、嘗て大正六年二月より同八年十月迄吉林總領事館に書記生たりし緣故の深い人で大正十二年副領事となり同時に米國大使館勤務を命ぜられ今日に及んだのであるが氏は目下歸朝中であり其着任期は多分二月頃となるであらうと云れてゐる

營口

牛莊昨年度入港船
露支紛爭影響で總噸數增加

昨四年中牛莊港へ入港した船舶は千四十七隻總噸數百二萬七千六百五十六噸で之が國籍別は左の如し

國籍	隻數	噸數
日本	三四五	三七八、五九二
支那	五二三	三九五、一五四
英國	一三四	一九一、六四四
諾威	二〇	三四、一二八
獨逸	七	六、三四二
佛國	六	一、三五六
和蘭	三	五、四六六
伊國	六	四、〇〇三
芬蘭	一	九二四
丁抹	一	四、七一〇
米國	一	五、四三七
合計	一、〇四七	一、〇二七、六五六

前年に比し三十三隻減總噸數に於て十二萬七千四十噸の增加を見た右は露支關係のため露國貨物南下の增加に因るもので海運界は稀に見る殷賑を呈したるが市中への影響は比較的僅少であつた

年賀郵便減少

營口郵便局に於ける舊臘の年賀郵便引受は總計六萬九千七百四十六通にて前年に比し二千二百十三通の減少を見た

天津

小越氏逝く
奇行と逸話に充ちた
黃河治水策の先覺

「今にして黃河の治水を行はざるに於ては、河南、山東、江蘇、安徽の省民を奈何せむや」と叫び其水害を靑年に探り河口を利津に見て黃河を研究すること二十餘年、日支双方から禹の化身或は黃河七と稱せられてゐた小越平陸氏は舊臘九日東京で長逝された旨新春早々當地に傳へられた、在津知友は

◇—**その命日** たる九日さゝやかな法要を營み追憶談に耽つて其冥福を祈ることになつてゐる氏は新潟縣人少壯海軍に志し一水兵として渤海に在つた時日淸の風雲急を告げ遂に志を改めて脫艦し滿鮮の野に馳驅したのが大陸入りの始め爾來得意の漢文を有つて奉天、上海、濟南、北京に新聞記者として働いたり「蠻女橫長刀」の長詩を賦して雲南に苗族の蠻と

◇—**戀愛生活** をつゞけたり、青島戰には通譯官として神尾大將の帷幄に參じながら牛胡瓜と高粱酒を攜へて戰線を彷徨し獨探の嫌疑で捕へられたり、甘肅で[illegible]船して無一物となり當時の小幡公使に救はれながら僞替送金の不平をモノして政府を困惑したり、八達嶺の長城で

◇—**泥醉して** 瞬間の一物をサラケ出しながら步てゐたり、天津の旅亭に故中西正樹翁と飲む高粱酒を呷つて鄰妓を驚かしたり、其奇行逸話の枚擧に遑がない程である、而して其黃河治水策は全く世界第一人者で「黃河の幾百年目に週期的に氾濫するが今や其時期に到達した若し現在のまゝ拋棄して置けば中部支那は大海に化して了ふ之を救ふのは土匪馬賊の如き支那の政權者でなくて實に日本人でなくてはならぬ」といふのが持論であつた一隻眼を具へた對支文化事業は超現代的支那通として尊敬されてゐたのに今やこの人亡し、支那問題の關係者は今さら寂寥の感に堪へないものがある

新年所感

世界交通の焦點たる朝鮮
朝鮮總督府鐵道局長　大村卓一

乾坤一轉茲に昭和五年の新春を迎へ、二十世紀も最早三十年の歲月を重ぬるに至つた。世は不景氣とか緊縮とか騒ぐけれども、我國運は益々隆盛に趨き世界の事象は間斷なき進步を續けて居る、而して其進步の先端を行くものは何といふても交通機關の發達である。海に船舶、陸に鐵道自動車、空に飛行機飛行船、其他「ラヂオ」や「テレビジョン」の

普及の程度 を考へて見ると平面的にも亦立體的にも交通通信機關の進步發達は實に現代に於ける驚異の一であつて他の總ての事象は之に引ずられて進みつゝあるかの如く見へる。近時海陸及び空運等の交通機關の長足なる發達により世界は著るしく縮小せられ歐洲より大西洋を橫斷して米國に至り飛行機、大陸橫斷鐵道及び長距離自動車等に依つて太平洋岸に出で又海にはパナマ運河の航運に依つて東洋との交通著るしく促進せられ、一方歐洲よりシベリア鐵道を通し、滿洲朝鮮を經由して日本に來る、即ち我國は愈々完全に世界の大道圈內に入つたのである、從つて鮮滿は東西兩洋を通ずる

世界交通の 焦點と目すべき主要なる位置を占めんとするに至つたのであるが、此環境にある我鮮滿の八百哩に亘る一帶の國境地域を開發せられ之を經濟化し世界文化の圈內に進み行かんとしつゝある矢先き、本年は緊縮豫算の爲めに鮮內に於ける此方面鐵道の延長は一寸停頓の狀勢を示し、年內には圖們線の一部二十數哩が新に開業せらるゝに過ぎないのは遺憾である、之が例の吉會線を海港に結ぶ主要幹線の一を成すものである、私設鐵道に在りては全南光州麗水間の百哩を始め黃海線は海州に達し金剛山鐵道は金剛山口に延び、京南鐵道は群山對岸より一部營業を開始するに至るべく是等を併せて百數十哩の鐵道が鮮內に延長せらるゝことゝなるであらう。

自動車に依 る道路輸送も漸々として各道に普及を見、又昨年夏より開始せられたる內地と半島及滿洲を結ぶ飛行機の空運も益々其の利便を增進せんとし本年內には朝東京を出發して其の日の午後に京城に着し翌午前中に大連に着することになるであらう。斯くの如く兎にも角にも總ての交通機關が各々其特長を發揮し順調に進んで行きつゝあることを考へるとき決して悲觀を要せないのである、況んや本年は其初頭に於て懸命の「エンバゴー」は解除せられ、我國は世界の經濟界に一層の重きをなして眞の金本位國となり、是れから積極的に產業立國の大方針を具體化せんとする最も希望に輝く新らしき年である。夫れに付けても產金國たる朝鮮半島は一段と

其年產額を 增し或は一千萬圓を突破して內地產額に拮抗するかも知れないと思はれる。其他の礦業及農產林產水產工產等各主要產業の發達は勿論積年からの懸案たる昭和製鋼所も之が解決を見滿洲と朝鮮の合作とも見るべき五十萬噸の銑鐵が製產さるゝに至るは强ち空想でもなかるべく、咸南十八萬キロの電力は各種の合理化產業を生んで殷賑を加へ、又北鮮一帶の處女地も何日までも火田民の荒すが儘に放置せらるゝことなく開發の一途に進み鮮滿の經濟的綜合も漸次鞏固を加へ行くであらう、交通は產業を生み產業は又交通を生む、而して交通は更に交通を生んで凡ゆる進步の先驅をなす、先驅進まざれば後續停らざるを得ない、

停頓は退步 を意味する加ふるに其間種々險惡なる氣分を釀成して往々面白からざる世上の事象を發生するに至る虞なしとせぬ、故に吾々は此の財界更始一新の年に於て徒らに消極的萎縮に傾くことなく寧ろ緊縮を緊張と心得此機を利用してあらゆる事業の經營に對し管理技術の各方面に亘り鋭敏なる研究を遂げ所謂產業合理化を促進して我半島の地方的國內的經濟を國際的經濟にまで押し進める爲めに國境を通じて鮮滿を結ぶ交通機關の普及達成に努むべきである、吾々の從事する交通事業も亦產業の一分野である以上深く思ひを此點に潛め內鮮二萬の從員は發奮一番互に力を戮せて公衆に對する業務上の改善は勿論冗費を節約して事業の經濟を念とし、

希望に輝き つゝ交通業者としての使命を完うするの一大覺悟を要する、大方の諸賢我等の微衷を諒とせられ御援助を吝まれざらんことを切望する次第である

瓦房店

電燈料金の引下を斷行
愈よ一月一日から

既報の通り豫て關東廳に認可申請中であつた瓦房店電燈株式會社の電氣供給規程は十二月二十七日付を以て太田長官の認可ありたる爲め愈々一月一日より實施する事となつた本改正の內容は大體滿電の例に倣ひ電氣供給規程の根本的改正並料金の値下等で會社は時勢に鑑み幾多の犧牲を拂つて之を斷行するに至りたるもので在住民も其心勞を多として居る料金値下の主なる點は

一、從量燈 從來十燈以上でなければ出來なかつたのを五燈以上從量燈となし料金も一キロ時二十五錢單一制が二十二錢より十四錢迄の逓量遞減になり準備料一燈に付二十五錢を二十三錢に但し配線會社持の場合は器具損料として五錢申受くる事となつた

二、定額燈 十ワツト一圓廿錢三十ワツト一圓五十錢四十ワツト一圓七十錢六十ワツト二圓三十錢に改め從來より十錢乃至三十錢の値下となつた

尚配線が會社持の場合は別に器具損料として五錢を要すと、以上の通りで目下同會社は値下の準備に

忙殺されて 印刷物等も間に合はないのであるが、出來次第發表すべく田家及熊岳城方面は多少趣きを異にして居るので別途に改正せらるゝ筈

安東

梯子乘も勇しく
新義州の消防出初式

新義州府消防組の出初式は四日午前八時より新義州署構內に於て行はれた式は午前八時モーターサイレンを合圖に構內へ集合した組員に對し佐伯警察部長の人員點檢、同機械器具の檢查あり石川知事、佐伯部長の訓示に次いで伊藤府尹の挨拶、古市署長の講評で十時終了した組員は式終了後例年の如く梯子乘りをなしながら午後六時頃迄府內を廻り威勢のいゝ所を見せた尚同夜六時半から三樂に於て慰勞宴が催された

安東署の新陣容

安東警察署は年末に際して署長以下幹部級の大半が異動したので新春早々陣容を新たにした、即ち高山署長統禦の下に鮫島警部は警務主任に、大場主任は從來通り保安主任の外に衛生主任を兼ね、國武警部は司法主任、藤島警部は高等主任を承り茲に國境警察署の警備は完全に成つた

乘客は減少
正月の安東驛

舊臘の三十一日から正月三日間の乘降客から見た安東驛は緊縮節約の新年は廻禮の屠蘇氣分を他所に休みを利用しての旅行客が多からうとの豫想は裏切られて平日よりも大分少なかつた

氷滑競技會へ選手遠征
四氏二日出發す

全日本氷上競技スピードスケーチング選手權大會が來る十二、三兩日青森縣八戶リンクに於て開催される事は既報の通りであるが安東スケート部よりは木谷、石原、大澤の三選手と吉岡正一監督が去る二日盛大なる見送り裡に遠征の壯途に就いた

夫と口論して妻の劇藥自殺

三日午後六時半頃當地繁榮町四丁目機關區苦力宿舍居住孝大甫の妻孝氏（二七）は同日夫大甫と口論して毆打されたのに昂奮した揚句重クロム酸加里を嚥下し九時半頃死亡した

鐵嶺

消防出初式
四日いと盛大に

鐵嶺滿鐵義勇消防組聯合恒例の出初式は四日午前十時警報によつて消防手を召集神社境內に集合して點檢の後神社に參拜花園町路上に於て青木署長より被服器具の點檢次いでポンプ運轉試驗あり正午より公會堂に於ける懇親會席上青木署長の訓示藥師神義勇消防團長の訓辭齋藤滿鐵消防監督の挨拶に次いで小野院長發聲の下に兩消防隊萬歲を三唱和宴に移り美妓の酒間斡旋鐵嶺ホテル萬盛の餘興消防組員の飛入餘興等あり一時半頃閉會した

滿俱道場の武道寒稽古

滿鐵俱樂部道場では六日より二十一日まで每日武道寒稽古を實施し時間は左の如くである、尚初心の參加者には能ふ限り便宜を與へて歡迎すると

幼年組　午後四時半より一時間

青年組　午後五時半より七時迄

警察署職制決定

署長以下幹部二名の異動を見た當地警察署では左の如く職制を決定した

高等係主任　市丸警部補

衛生係主任　川島警部補

外勤監督　千葉警部補

保安係主任　阿部警部補

司法係主任　畔地警部補

滿鐵昇級者

滿鐵々道部の准職員昇級者氏名は十二月卅一日附社報で發表されたが當嶺在勤社員中昇級せしは左の如し

機關區　相馬秀一、築地陽吉、伊倉義雄、佐假重定、岩滿虎二

驛　渡邊喜一郎、小林竹由

鐵嶺漫筆

年末年始の爲め殊の外忙しく通信も暫く御無沙汰してゐたが屠蘇氣分も漸く醒めます▲舊に倍して御愛讀と御引立の程願ひます▲緊縮の正月は流石に年賀訪問も無く市中は淋しいものであつたが丈夫な人間が終日家の中に居るといふ事は誰でも苦痛だと見え矢張り外へ出たくなる▲出れば廻禮遠慮の申合せで行き場所が無く勢ひ料理屋へ▲ヤア君も來たとるか俺も來た正月氣分で大に飲まふ……なんて▲何處に幸ひがあるものやら世の中は一寸先きが闇▲緊縮のお蔭で今年は料理屋が大繁昌なんて辻褄の合はない正月であつた

金州

消防出初式
六日新市街で

當地消防組の出初式は六日午前九時より城內警務課に集合同十時より新市街に於て擧行する筈である

池田氏出發
平井氏六日着任

今回當民政支署總務課長より普蘭店民政支署長に榮轉せる池田公雄氏は六日午前九時四十一分金州發の急行にて家族同伴赴任、尚後任の總務課長平井齊三氏は同日午前十一時三十六分金州着の列車にて家族同伴着任した

石川氏送別會

今回當地內外棉支店長より青島支店長に榮轉せる石川作太郎氏の送別會は青年團理事並に有志相集まり五日午前十時より內外棉俱樂部に於て開催された

◎ミツワ石鹼

歳改まる
昭和五年庚午の春
天馬の如く 一意
品質の向上
價格の至廉
を目指し
研究
工程
經理
に科學的最善を盡し
顧客諸賢の格外なる
御眷顧に報いる所あらんとす。

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士 [illegible]氏
藥學士 [illegible]
農學士 [illegible]氏
工學士 [illegible]氏
工學士 [illegible]氏

品質は優秀に

泡立は石鹼の除垢作用と密接な關係があります。泡の大き過ぎるものは刺激性が伴ない易い。泡立のわるい石鹼は、除垢がわるい。泡が細かに豊かに立つて持續くミツワ石鹼が、刺激性がなくて、除垢作用に力があります。

價格は低廉に

無駄を省いて、價格を低廉にしようと云ふことは、商品の大切な心がけでございます。けれども價格の低廉だけを心がける餘り品質が低下する樣ではそれこそ大きな無駄になります。品質が優秀で價格の低廉なミツワ石鹼が眞に低廉。

無駄なく經濟に

包裝や香料に贅澤を盡す爲に石鹼が高價になる場合もあります。ミツワ石鹼は包裝がすつきりとして芳香が溫雅で無駄がありません。必要な量だけ溶けて、浪費がなく、溶崩れがなくて、三倍も保ちますから、此上なく經濟です。

本舖　東京　◎丸見屋商店

コドモページ

懸賞童話(一等)
雪の降る夜(中)
敏浩二郎

「…お父さんが居なくたつて…僕…寂しくなんかないよ」

…だが…お父さんが留守だといふことは、確に、照夫さんにとつて、何かしらう寂しいものでした。

わけても、今夜の靜けさ……。

……照夫さんは、道子さんのいふ通り、お父さん子でした。……道子さんがお母さん子である樣に

「……お母さん。…姉ちゃんはうそいつて居るのよ」

照夫さんは、お母さんに、訴へる樣にいひました。

「……照夫さんは、男ですからそんなことはないと、お母さんも思ひますわ」

お母さんは、ほゝえみながらいひました。

「…えゝ、お母さん、僕、ちつとも、寂しいなんていふことはないの……」

照夫さんは、起き出してしまひました。

「…お父さんが居なくたつて、お母さんも居るし、それに姉ちゃんも居るし……」

……ぢや、何故、今夜に限つて照夫さんは眠れないのでせう。

照夫さんは、お母さんのわきにすわつてしまひました。

「…寂しいなんてことはないの……」

「…そうでせう。お母さんも、さう思ひますわ」

お母さんは、照夫さんの頭を優しく撫ました。

「でもね。お母さん……」

「……?」

「……雪のふるのに、お父さんのつとめは、辛いだらう……と、思つたの……僕……」

「……そしたら、どうしても、眠られないの……」

「……」

お母さんは、瞼の方から胸の方に黝い石の塊の樣なものが、大急ぎで、込み上げて來るのを、知りました。

お母さんはそれを、ジットこらえました。

しかし、眼瞼の熱くなつて來るのを、どうすることも出來ないのでした。

……隣町から吹き通す風に押されたのでせう。窓硝子に雪の當る音が、サラ〳〵ときこえました。

「……外は寒いでせうね……。お母さん」

照夫さんはいひました。

お母さんは靜かにうなづきました。

童謠(二等)
母ちゃんお使ひ
春日小學校四年　檀原　哲

ヤンチョウ、ライバ
ヤンチョウ、ライ
車ニイヤが
やつて來た
いつもの樣に
いそがしい
かあちゃん車に
すぐ乘つて
ニイヤン、ニイヤン
快々的
ニイヤは走る
エッチョイ、チョイ
かあちゃん之から
どこへ行く
山縣通に
お使ひに
そして歸りに私に
わたしのおもちゃを
買つて來る
ブン〳〵ヒコキも
買つて來る

童謠(三等)
雪の夜
日本橋小學校五年　齋藤　郁子

お父さまおかへり
お外はさむい
ペチカ眞赤に
どん〳〵たいて
くみちゃん
あみもの
私はししゆう
兄さんおべんきよ
お外はさむい
なべやきうどんのこえ
なほさむい

兒童の作品
霧の朝
常盤小學校五年　宮内　秋子

あんまり内が暖かいので、外に出て見ると、一寸先も見えない。私は内にはいつて弟を呼んで來た。弟は「姉えちゃん、ちつとも見えないね」

「うん」

「櫻井商店も見ないね」

「姉ちゃん人が歩いてゐるの」

「そうよ」

「康つちゃんブラジルの人道に出て見よか」

「出て見よ」

「姉ちゃん電車のおとが」

「康ちゃん向ふから何が來よると思ふ」

「姉ちゃんは」

「姉ちゃんは人だと組ふよ」

「僕も人だと思ふよ」

「康ちゃんなんか人のまねばかりするからきらい」

「だつて僕だつて人だと見えるのだもの」

「そしたら康つちゃん、日本人かくりーかあてやいこをしよう」

「姉ちゃんはくりい」

「僕は日本人」

私はどうかクリーであるやうにと思つて見てゐるとその歸は私の方へ近よつて來た。見ると、くりいが天びん棒を肩にしてゐた。

「姉ちゃんの方があつたよ」

「だつて僕くりいていはうと思つたけれど姉ちゃんが先にくりいだつていつたからしかたがないから日本人んていづたのよ」

「馬鹿だねくりいといへばいゝのに」

「だつて姉ちゃんが又おこるとか思つてゐはなかつたのよ」

内にかへつて支度をして學校に來る時にはもう霧はなかつた。

オコトワリ
大チヤン ノ モウジウガリ ハ ケフ カラ ノセルハズデ シタガ ツゴウ ニ ヨリ メウニチ カラ ノセルコトニ イタシマス。

オヤスミモ ケフカギリ
アスカラガクカウ ガハジマリマス

タノシカツタ オシヤウガツ ノ オヤスミ モ イヨイヨ ケフデ オシマヒ ニ ナリマシタ。アス カラ ハ ダイ 三ガツキ ノ オケイコ ガ ハジマリマス。

ミナサン ハ コノオシヤウグワツ ナニヲ シテ アソビマシタカ スゴロク ヤ カルタ ナド ヲ シテ オモシロク アソンダ カタモ アルデセウ タコアゲ ニ ムチユウ ニ ナツタ ヒト モ アルデセウ。ヤスミノ アヒダ スケート バカリ ヤツテヰタ ゲンキモノ モ アルデセウ。シカシ オヤスミモ ケフ カギリデス カラ アス カラ ハ マタ ココロ ヲ ヒキシメテ シツカリ オベンキヤウ ヲ イタシマセウ。

學校と家庭

満洲つ子に完全なる搖籃を與へよ
丸山英一

長年満洲の教育にたづさはつて居る我々にとつて、心強く思はれるのは年を追ふて満洲生れの兒童生徒の増加することである。

◇

小學校にあつては其在籍兒童の七十五パーセントから八十五パーセントまで、中等學校にあつては其在籍生徒の五十パーセントから六十パーセントまでが、満洲つ子であるとは統計の示す所である。

◇

ある一定の土地に生れた子供は各其土地に於て生存し、生育し、活動する權利を有して居る。アメリカに生れた邦人の子供ですらなほアメリカ市民として登錄せられアメリカ市民としての權利を享けて居る。

◇

満洲の天地に生れたものは、當然満洲に於て生存し、満洲に於て教育をうけ、満洲に於て活動する權利を主張すべき資格を有して居る。何となれば満洲こそ彼等の搖籃の土地であり、そして又彼等の墳墓の土地であるから。

◇

曾て、私は樫前屯なる故金子雪齋先生の墓前に立ち、あたりを展望して邦人の墳墓の少ないのに驚いた。又、昨日満洲に來遊した一外人が、此地に何故に日本人の墓がないのかと訝かつたといふ話を聞いて居る。たしかにこの外人の觀察には意味深長な暗示が含まれて居る。けれども私は茲に満洲に於ける墓地の有無、多少などを云々して慨嘆することはしばらく控へたい。何となれば満洲つ子はまだ廿五歳に達するか、達しない位の若者であるんだから。

◇

然らば満洲つ子に完全なる搖籃が與へられて居るか。成程年々地方費の膨脹が呟かれながらも、小學校の校舍だけは建られて行く。しかしそれからさきの搖籃はどうか。この地がその儘に自分の郷土でありながら、この土地に於て中等教育を受けんとしても受け得ない満洲つ子はないか。そして又實業補習教育の施設はどうか。

◇

更に高等教育についてはどうか自分の郷土が有する醫大學醫科工科にすら、なほ門戸を閉ざされて入る事を許されぬ満洲つ子の恨は深い年と共に。

◇

其他女子專門の設立、高等商業高等學校等々の建設。これまで幾度か要望されて達成せられない計畫が、何とそれ多いことであらう

そして一方満洲つ子の數は年と共に増大して行く。私はこゝに新しく迎へ得たる年に對しても、又來るべき年に對しても根氣よく、満洲つ子の代辯人として彼等の郷土に於ける搖籃の完備を説くものである。

教育漫言

希望に輝く昭和五年は明けた。本年の教育界は如何に展開するか。

◇

先づ新任學務課長の雙肩に幾多の希望がかけられる。

◇

沈滞せる關東州の教育界を新課長は如何に打開してゆくか。

◇

新任者の常套語たる「白紙だから」の陰にかくれて單に貝に倣はるだけの課長でないことを信じて疑はぬ。

支那人の相續權を證明
醜い遺産爭ひ緩和
關東廳管下置籍者に福の訪れ

皇國洽く新春を迎へて關東州内外在住邦人は一齊に聖代の光被に感銘したが、茲にわが關東廳管下にある支那人にとつて、舊來の複雜錯雜たる家族制度の缺陷が招來する遺産相續の手續上の煩瑣が一掃せられ、極めて

簡單に 遺産相續者が安全に其相續權の證明を得るといふ新しい光明が與へられることになつた即ち從來關東廳管下の各民政（支）署では從來管内に戶籍を有する支那人から遺産相續による不動産の相續登記を申請する場合においては、管内警察署よりの遺産相續權を證明する書類を添付せしめて、之が移轉登記を爲さしめてゐたが各警察署におけるこの遺産相續權證明書の下附に關する取扱は區々別々にして、本來警察署の職務範圍としては當然戶籍吏に於て

取扱ふ べき遺産相續を證明するに足るべき書類の作成權限なく、且州内居住の支那人間の相續については今日尚ほ一方的慣習に基き相續人の身分一定せず、更に家族主義に即する支那人の相續はわが國のそれの如く家系主義をとらず、遺産相續のみに重きを置く關係上、しばしば巧妙なるトリックを弄して虛僞の相續者を捏造して官邊を欺罔する等、各官衙においても之が取扱ひにほとほと手を燒いてゐたものであるが、昨秋旅順民政署よりの諮問に對し旅順警察署においてこれを内務局長に

上申の 結果、議書に至り旅順署を始め各警察署に對し通牒を以て各民政署管内に原籍を有する支那人の遺産相續に依る不動産登記申請には各警察署長は戶口調査簿により身分關係を闡明にする證書を作成してこれを當該相續者に交付し、確實な戶籍をもたぬ支那人の便宜を計る樣との各民政署を通じて取扱上の統一的通牒ありこれにより從來遺産相續に關して種々の同族爭議を釀してゐた支那人の醜い遺産を繞る爭鬪は

大部分 緩和されると共に各民政署の手數も省けるわけで、管内支那人にとつての一福音であるといはれてゐる

銀翼を連ね
帝都へ初飛行
所澤飛行學校の廿五機

【所澤六日發電】所澤飛行學校の帝都訪問初飛行は六日午前十時當地發、總指揮官古谷中將は野口少佐操縱の乙式機に搭乘先頭に進み乙式七機二編隊、甲式三機三編隊は德川大佐の偵察機に率ゐられ二十五機鳳翼を連ね多摩川右岸に沿ひ品川灣上に出で、それより空中陣形を整へ代々木練兵場の陸軍觀兵式豫行演習中の上空で空中分列式を行ひ十時五十分所澤に歸還した

武昌丸坐礁

大連無線電信局宛大阪商船武昌丸（二五六七噸）よりの無電によれば同船は四日午前七時大沽バー出口に於て坐礁し五日午後四時滿潮時を期し自力を以て離礁を試みたが今朝に至るもなほ離礁せず差當り危險少きも寒氣のため作業困難を極めてゐると

野砲發射試驗

來る十日より約一週間に亘つて沿線海城に於いて砲兵守備隊の野砲發射試驗が行はれるが右立會の爲め六日入港のうらる丸にて陸軍技術本部の津田砲兵大佐及び陸軍野砲兵學校教官島砲兵大佐の兩氏が來滿した

ラジオ界にも
トーキー進出
今後六十日以内に
桑港から全米へ放送する

【サンフランシスコ四日發電】サンフランシスコ・ケムバー・ラジオ・コーポレーションは本日今後六十日以内に米國全土に向つてトーキー放送を開始すべく準備成れる旨を發表した、右放送局は當市に設けられ受信者は現在所有するラジオセットに映寫設備を敷設すれば足るのであつてその費用は百弗以内で濟む筈である、この放送はラジオ・トーキング・ムーヴイと稱せられ受信者は從來のラジオ聽取裝置から演說や音樂を聽くと同時に同社新工夫のプロゼクターから高さ十二インチ、巾十四インチのスクリーンの上に投寫される放送活動寫眞を見る事が出來るのである、なほスクリーンは遠からず擴大され漸次普通映畫の如く大勢で見られるやうにすべく研究中であると

二人組拳銃强盜
邦人藥屋を襲ふ
五日公主嶺附屬地へ

【公主嶺特電六日發】五日午後五時十分市内柳町一丁目藥種商川本茂方方に顧客の如く裝ひたる二人組のピストル强盜來り、賣藥を物色のかたはら雜談に時を移し家内の樣子を見きわめ主人が油斷の隙に乘じ突如ピストルを突きつけ家人を脅迫し、一賊は電話線を切斷し來の如く威嚇して金品を强要し現金六十餘圓を强奪し水源地方面に向つて逃走した、この急報に接し警察署は市中特別警戒の折柄各所に警戒中の警官に急報手配し嚴探中、警戒網を突破し水源地附近に逃げ來りたる二賊を發見し逮捕に努めたが、賊はピストルを亂射し脫兎の如く暗中に姿を消したので警察署は總動員を行ひ嚴探中である

兵隊さんが
スケートの練習
雪や氷の行軍には必要……と
柳樹屯旅團の新試み

雪や氷の上を行軍するにはスケートの素要なくてはならぬと今度柳樹屯駐屯軍で新しい試みとして兵士にスケートを教授することゝなつたが、さて教官はといふに、何れも内地育ちでスケートの心得ある者は一人もない、そこで先づ教官をつくる必要から六日下士十名が來連、滿洲體育協會の林田學氏を教官に鏡池において汗だくで猛練習を開始した（寫眞はコーチをうける兵隊さん）

馬と思ひ出 （中）
石森延男

飼料牧場だ。小學校の遠足の時、よくそこへつれられていつた。何百頭ともしれない馬の群が、楡の大木の下で、芝生の上に遊んでゐるのは、子供ながらにたのしくみえた。

何聯とかいふ軍事用の馬が居ると、それは、日本でも珍らしい大きな馬だときいた。それが車をひいていつたあとへいつて、その馬の土に印した足跡をみて大きいのに驚いた。

「おい、おいらの掌がなんぼはいるか集めてみろ」かういつて、私はしやがんで、二つの掌をならべて足跡の一部をふさいだ友だちがその次々に掌をならべ、五六人が、重なるやうにかたまつて足跡を弄そんだ。案内人であつたか、番人であつたか、こんな話をしてきかせた。

こゝらあたりには、熊が出てきて馬を喰ふなんてことはないが、奥地の方へゆくと、いくらもとられてしまふ。熊がやつてきたといふことがわかると、馬は、皆一とところに集つて、頭をくつゝける。そして、放射狀に圓くより合ふ。そして熊が喰ひかゝらうとすると後脚で蹴りあげる。かうして、團結して、身を護る天性を持つてゐる。といふ話。私はなるほどいゝ教へだなと感心した。

○

馬の足跡で思ひ出した。I氏といふ畔の富豪が居た。その妹が、國文學のお稽古に私の父のところに通つてゐた。父はよく紫式部とその妹との才をならべ稱してほめてゐたが、結婚前腎臟になつて死んでしまつた。

I氏はその後も時々、私の家に遊びに來た。その時は必ず馬に乘つてきた、つやつやした背の高い賢さうな馬だつた。I氏は、革の長靴をぴかぴかに磨あげて、鞭をひよいとその長靴の口にさしこんで、銀色の拍車をかちやくくと響させた。

父と話をしてゐる間、その馬は庭の杏の樹につながれる。近所の子供たちは、この馬がくると言ひ合はせたやうに集つてきて、毛がいゝとか、耳がとがつてゐるとか、何を喰つてゐるんだらうとか、あの尻尾が一本ほしいとかわいわい話した。

私はそんなことより、足跡が氣になつてしようがなかつた。杏の樹の周圍は、お庭だ。小梅の苗木があり、紫露草があり、時鳥草が咲いてゐた。柔かな黒い土で、うぶ生のやうな苔がしつとりしてゐた。朝も夕も私は、この庭を心して掃き掃除しゐた。そこへこの大きな馬が悠然と踏みこんでくる。主人の歸るのを待ちわびてか、馬は、折々前脚で土を蹴る。その度に、そこへ穴があいて土がとぶ。

父とわかれをつげて、主人は、轡々と馬に乘つて、歸つていく。私は、美しい庭の土がひつかいた跛馬の足跡をうらめしくもおもつた。

沿線見物をかねた
各溫泉めぐり
近く第二回を本社主催のもとに
新春劈頭の催物

本社主催年中行事中新春劈頭の催しとして、昨年一月第一回を試みたる沿線見物を兼ねての「溫泉巡遊團」は前回の好成績に鑑み恒例に依り、本年も本社主催、滿鐵大連鐵道事務所後援のもとに第二回を一月中に擧行することに決した、團員募集規定、期日その他一切のプログラムは目下鐵道事務所營業課、ジャパン・ツーリスト・ビューローおよび本社事業部において作成中で近日中社告を以て發表の筈であるが、今回は第一回の經驗に徵し各溫泉、旅館、見學地當事者との連絡等についても特別入念に研究交涉を進め參加團員に對し一層の滿足を得べく萬遺漏なきを期してゐる

交通事故を
嚴重に取締る
事故發生者はきつい處分に
沙河口警察署が

この一、二月間の大連市内は路上凍結その他によつて自動車の正面衝突、通行人轢傷等に交通事故激增し百鬼夜行さながらの交通地獄を現出してゐるが、これに鑑み關東廳では市内各警察署に對しこれが事故を未前に防止すべく取締方を示達して來た、よつて沙河口署では交通取締を一層嚴重に行ふと共に事故發生者に對して嚴重なる處分をなすことゝなつた

法院初公判

大連地方法院の初公判は來る十六日午前十時から播磨町事件及び三業組合不正事件によつて開廷

山林疑獄進展
關係者を護送

【東京六日發電】樺太山林の木材拂下げ問題に絡まり瀆職嫌疑で舊臘卅一日來市ケ谷刑務所に收容中の釧路新聞社長遠藤清一、熊谷某外一名は五日祭日に拘らず取調を爲した上同日聯絡警視廳刑事附添ひ物に樺太に護送されたが、事件は取調に連れ官邊、政黨方面にも手が延びるやも知れぬと

狂言强盜
賭博から

市内千代田町三番地藥品行劉華麓（二七）は五日午前五時ごろ大連署に飛込み只今東鄕町路上に於いて七、八名の强盜團に襲ひ大洋五十圓と金六十圓を强奪されましたと訴へ出た、大連署では直ちに非常召集を行ひ犯人搜査を開始したがそれらしい形跡がないので劉を取調べると强盜とは眞赤な嘘で實は當日東鄕町二七番地某新聞社配達王裕忠方に於て賭博をなし劉が諸つたので一同が勝金を全部出せと脅迫したのを誇大に訴へ出たものと判明

日大生十二名
針ノ木で遭難す
雪崩れに襲はれて

【東京七日發電】日本大學山岳部員初見一男（二三）の一行十二名は舊臘二十六日針ノ木に登山し、大澤小屋を根據として一昨年早大山岳部員二十餘名が雪崩に襲はれ中四名が慘死を遂げた日本北アルプス針ノ木の雪崩を研究すべく右遭難地點に於てスキー練習中、二日午前十時ごろ突如一行は大雪崩に襲はれ十二名全部雪に埋められ全く身體の

自由を 失ふに至つたが、幸ひ萬一を警戒して十二名が密接してゐた爲め互に死力を盡し身體を近寄せ一塊りとなつて排雪に努めた結果、午後四時に至り遂に全部救ひ出され辛うじて大澤小屋に辿りついた、一行中には全身に凍傷を負ふたものもあり手當を加へたらへ三名だけは四日夜松本に下山、それより五日朝六時四十分歸京したが、北アルプスで本年最初の遭難である

苦力の大集團
夜警と大立廻り
買つた品物の返却から發端
西山會春柳屯で

市外西山會春柳屯小侯家溝苦力揚公（三〇）は去る三日午後六時ごろ附近の雜貨商馬廣學方に於て小洋二十三錢で油を買つたが、後に至つて二十三錢は高いとの口實のもとに品物を返し、その代金の拂戾しを受けんとした際、揚は鐵棒を以て脅迫し更に金を强要したるため、馬は大いに驚き戶外に飛び出して警笛を吹き鳴らし救ひを求めたので、附近を見廻り中であつた夜警李文財（三〇）は外一名と共に馳つけ揚を縛り上げたところへ更に

警笛を 聞きつけて來た現場監督の邦人の仲裁により事なきを得たが、揚は歸宅後九時ごろに至りその腹いせに同僚の苦力約六十名を引連れて大擧侯家溝の夜警小屋を襲ひ、夜警勤務中の李文財を縛り上げて小侯家溝北方に拉去し「この村には絕對夜警は入れない」と散々毆打きにしたうへ一同引揚げた、これがため同地の夜警團員は苦力の壓迫に警戒するもの少なく部落民は何れも恟々としてゐるが、沙河口署では直に主謀者揚福公を逮致すると共に苦力の警戒に努めてゐる

柳行李から
絞殺死體
綾瀨川に漂着

【東京六日發電】六日午前八時頃府下南綾瀨村彌五郎新田四二二番地綾瀨川筋に柳行李が漂流してゐるのを船頭が發見屆出に依り千住署から係官が出張取調べると二重になつた柳行李の中に七歳位の男の子の絞殺死體が入つてゐたので直ちに警視廳に急報同廳より江口搜査課長吉川鑑識課長以下急行取調に着手したが事件は相當怪事件の模樣である

東京物理學校長
中村精男博士

【東京五日發電】東京物理學校長理學博士中村精男氏は三日午後四時十分同校内にて突然腦溢血を起し遂に逝去した、享年七十六歳氏は山口縣萩出身で東京帝國大學理學部卒業後内務省氣象觀測所技師、中央氣象臺技師を歷任し、明年三十年現在の物理學校を創設して自ら校長となり、現に帝國學士院會員、萬國理學會員たり、我が國氣象學及び物理界に盡したる功績は多大である六日午後二時より同校で告別式執行の筈である

相生氏の葬儀
けふ執行する

故相生由太郎氏の葬儀は七日午前十一時播磨町自邸を出棺、同時大連商議に到着し樓上に於て告別式を執行するが一般告別式は午後一時から三時までゝこの間に燒香を終り午後三時齋場に向け出棺の豫定である、なほ福昌公司では當日の葬儀を活動寫眞に收め永久に相生氏の功勞を記念することゝなつた

女中の家出

市外星ケ浦水明莊一三號義雄方女中松村彌枝（一九）は四日午後一時ごろ附近の八百屋に用達に行つたまゝ行方不明となり家人は各方面を搜査するも遂に發見せず五日沙河口署へ搜査願を出した

敷島ビル小火

六日午後一時十分市内敷島町五二敷島ビル三階桑山元一方ストーブ煙突より發火し天井に燃え移つたが、折柄敷島廣場に集合せる消防隊駈着け約十五分にして消止めた原因はストーブ煙突の不備から損害約五圓

・・・大慈園に寄附　元本社員深町鶴太郎氏宅にては本月三日四十九日に相當するを以て香奠返しに代へ金一封を大慈園に寄附されたる由

けふのラヂオ

昭和五年一月七日（火曜日）

自午前十一時　相場（特産、鈔銭、株式各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特産、鈔銭、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特産、鈔銭、株式、各地相場）ニュース

自午後六時　ニュース

自午後六時二十三分（內地中繼）

一、講演　新年行事の歷史的意義　文學博士中山久四郎

二、河東節　一、七草、二、靈の島、酒井把一作詞、十寸作詞　淨瑠璃山彥小文次、三味線山彥秀子、上調子山彥八重

三、獨唱、一、砂丘の上、實生還作詞、小松耕輔作曲、二、月のカランコリヤ、柳澤健作詞、弘田龍太郎作曲、三、水、四、女、作詞、宮原禎次作曲、尾須磨作詞、宮原禎次作曲、五、たゝへとしらべよ歌ひつれよ、三木露風作詞、山田耕作曲、六、近江舊都を過ぐるの時、柿本朝臣人麿作歌併返歌、菅原明朗作曲、伴奏、澤崎秋子

四、講談　次郎長外傳、森の石松　第一席　神田伯山

五、以下大連放送局より　料理獻立、六、天氣豫報

訂正

本紙一月六日附夕刊第八千五百號掲載の池田大連支店景品付大賣出當選番號廣告中左の通り相違に付訂正す

二等中　誤　三一四　正　四一三

父相生由太郎儀豫而病氣之處養生不相叶三日午後三時三十分永眠致候間此段御通知ニ代ヘ謹告仕候

追而本七日午後二時ヨリ三時迄ノ間大連商工會議所樓上ニ於テ告別式執行仕リ候

尙香華放鳥等御供物ノ儀ハ時節柄御辭退申上候

昭和五年一月七日　大連市播磨町百四十番地

嗣子　相生四一郎

戀と地獄（4）

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

秘密書類（四）

その時、社長もつと時間に氣がついたものか、頭を帳簿からもたげて、俯向いてゐたので充血してギョロリとした目で壁の時計を振り返つた。そして黄色つぽい馬のやうに長い顏を證三の方へ向けて陰氣臭い聲で言つた。

「おゝ、もう四時すぎてゐるんだね——だが藤田君、今日は五時まで居殘りをして帳簿整理を助けて行つてくれないかな？」

證三はわれ知らず顏をしかめた彼は言ひ憎さうに——

「いつもなら拘ひませんが、今日は——」

「今日は？」

と社長がまた陰氣臭い聲で訊いた。

證三の今日の用向は說明し兼るものだつた。官憲の目を今度こそはやつと逃れて牛込細工町の女髪結の二階に身を潜めこのモグリ出版屋の事務員として折角口を糊するだけの代を得てゐる身である。若し社長に自分がどんな人間でどんな會合に行かうとしてゐるかるだと話したなら、明日から再びあの腸を噛む飢の世界へ陥込まねばならぬのだ。

彼は口から出任せに言つた——

「ええ、五時から縣人會がありますので——」

「縣人會——成程ね、若い人達は暢氣だ。寄合つて、牛肉を食つて酒を飲むことばかり考へてゐる——」

社長は別に皮肉らしくもなく言つて、

「ぢやあ仕方がない……その代り君、社の仕事のプロパガンダをやつてくれ給へよ。ネ、教育に關係してゐる人もあるだらう」

社長はデスクの抽出しを開けて社則冊を掴み出して證三に渡した。證三は規則書を疊んでポケットにねぢ込んだ。

「ぢやあお先きへ失禮します」

社長は默つたまゝうなづいて見せた、また厚い帳簿の上に屈み込んでしまつた。

證三は鳥打帽子を冠つて、大きな洋傘を持つて階下へ下りて行つた。客のない理髪屋の店では今日は無愛想な親方の姿は見えず、職人が二人パチリ〳〵將棋を指してゐた。

「降りますなあ、藤田さん」

と、年かさの頭だけ商賣柄でテカ〳〵に光らせた男が言つた。

「降りますね……左樣なら！」

證三はさう言ひ捨てゝ、小止みもなく降る雨にすつかり濡れ腐つた通りへ出た。道は靴がもぐる位にぬかつてゐた。

指定された巢鴨宮仲の裏町の汚い蕎麦屋に證三が着いたのは、初夏の日も雨なので暮れ足が早く、もうあたりが薄暗くなるころであつた。證三が驟然して來たやうな私服巡査の張込もないらしかつた青年は濡れしよぼれた洋傘をつぼめて、これも濕氣を受けた穢れつぽく重たい暖簾をかゝげた。

「活版の人達の寄合は此方ですか？」

彼ははじめて大きな冒險に從事するものゝやうな胸騒ぎを感じるから中に向つて言つた。

「いらつしやい！」

と、ぼんやり店の上り框に腰を下してゐた小婢が前掛に手をくるむやうにしたまゝ言つた。

「どうぞ二階へお上りを——」

店はづれの、すぐ梯子になる上り口には古びた下駄や泥まみれの靴がもう四五足ぬぎ捨ててあつた。

先驅はもう來てゐるであらうか？

證三も泥で作つたやうな靴をぬいだ。そして梯子段を踏んで上つた。

二階の小部屋は、集つた連中がひどい喫煙家だと見えて濛々と煙の煽りで一ぱいだつた。

粗末なチャブ臺を圍んで四人の青年は、新たに證三がはいつて行つた時、一齊に警戒的な視線を向けた。證三は默禮した。その中の三人は先驅の家で二三度顏を合せたことのある男だつた。一人は此の社會で雄辯で聽こえてゐる大山といふ青年で、まだ名乘り合つたことはなかつた。

「此の人は？」

と、大山は證三がチャブ臺の側に坐つた時、仲間に說明を求めるやうに言つた。

「此の人は藤田君——」

と、根岸と呼ぶ男が言つた。

新刊紹介

▲滿鐵支那月誌（十二月號）前號に續く里見甫氏の「訓政時期の國民黨及國民政府」（二）は堂々六十二頁の大論文他に「上海の小報に關する一考察」「支那官論界に於ける滿洲問題」等有益の文字である（定價五十錢上海滿鐵事務所發行）

▲近世實錄全書　一般大衆物から講談の種本たる所謂「寫本物」の聚大成を期する本全書は、單なる興味中心以外に德川三百年の各時代に於ける風俗習慣社會家庭及び經濟事情を初め旅中の狀況一般民衆の思想感情信仰等凡ゆる方面に亘つて參考たらしめる萬華鏡たり得るものである、本全書の鑑選は坪內博士、編輯は河竹繁俊の擔任であるから遺憾はない、第一卷は「原始の夕錄」として「唐人殺」「姫路騷語」等合計八篇を集錄してゐる（豫約出版全部二十卷東京市牛込區早稻田早稻田大學出版）

▲滿洲通信俳句會報（第四號）滿洲連繫を目的として發會した同會は鮮、內地よりの寄稿もあつて異彩の發展をしてゐる、本號は恰も年首に際せることゝて同人の新年吟あり更に次回は滿洲新季題を取入れて「四温」を募集した、發行所大連市山縣通三一大滿俳句會

▲新聞春秋（新春特輯號）定價金五十錢　東京市麹町區內幸町一丁目六番地新聞春秋社發行

▲事業開始案內（成功之友社編）小資本の各種利用法を具體的に說明してある（定價五十錢東京市神田區錦町朝日書房發行）

▲帝産雜誌（一月號）定價二十錢　札幌市北海道廳內北海[illegible]

滿洲日報

露支の正式會議は二月上旬に延期されん

東鐵當面の諸問題解決のため 支那全權は莫德惠氏

【奉天特電六日發】蔡運升氏は舊年末より病氣引籠り中であつたが既に快方に向つたので來る八日頃吉林に赴き同地に約一週間滯在して十五日までにはハルビンに到着する豫定であるが、同氏は露支豫備交渉を完成したのを機會に露支交渉問題から手を引き東北政務委員會に轉任する模樣である、而して今後**露支間の交渉は一切莫德惠氏が中心となつて辦理**する事となりモスクワに於ける正式會議の首席代表たる事に決定してゐる、莫氏は六日東鐵督辦に就任して二十日以內にモスクワに向ひ出發することに內定してゐるが、人事の異動及び歐亞連絡等當面の問題を處理する關係上恐らく一ケ月以後でなければ出發不可能の模樣である、從つて**今月二十五日開會の豫定であつた正式會議は多少延期**するものと見られてゐる

休會明けの劈頭に解散論有力となる

反對黨に質問を許さず

【東京六日發電】政府及び與黨幹部は休會明け議會に於て解散斷行の決意あるに對し政友會では來るべき總選擧の不利を危惧し飽くまで

解散回避 の方針に出で總括的不信任案は固より個々の政策に對しては殊更に攻擊的態度を避け場合に依ては一切の反對的質問をも封じ解散斷行の機會を與へざらしめんとする作戰の如くであるが、政府及び與黨幹部も此點については少なからず頭を惱ましてゐる、即ち民政黨は田中內閣時代の在野黨として當時政府が施政方針演說直後解散を斷行したるに對し其非立憲的措置を難詰したる手前今議會に於ては政府の施政方針に對し一應反對黨の

質問演說 を許すの雅量を示し然る後適當のチヤンスを捉へて解散を斷行せんとの最高方針を執つてゐるのであるが、反對黨の態度既に右の如く消極的に出でんとしつゝあるに鑑み之が對策に腐心し政府及び與黨が、かゝる卑怯なる態度に出づる以上强て宋襄の仁を爲し、質問を許す必要もない

から二十一日休會明け當日國務大臣の施政方針演說直後直ちに解散を斷行すべきであるとの說漸く有力となつて來た、更に一部には若しどうしても戰略上反對黨の

不信任的 攻擊を必要とす

るに於ては無產黨方面より休會明け劈頭提出さるべしと豫想される政府不信任案に對し解散を斷行することも一つの方法であるとの論をなす者あり、其成行は非常に注目されてゐる

政友會頓に緊張

解散免がれ得ぬため

財界や宮中方面を動かし解散回避に努めてゐるやうに噂されて

【東京五日發電】政友會は休會明け議會の解散問題につき政府は少數黨內閣であるが故に信を立憲的に天下に問ふべしと稱してゐるが此理由では最早證文の出し遲れである、即ち少數黨內閣たる事は組閣當時より明かであるから組閣當時即時解散を斷行すべきであつたが若し議會中ならざるが故に不可能なりとせば舊臘議會開會劈頭少く共二十七日に解散すべきであつた、然るに今日に至り右の理由で解散を行ふは可笑しなものである、解禁善後措置、軍縮會議等擧國一致の努力を要する國家的重大時期に當り徒らに黨派的鬪爭をなすべきではない、之をして尙は押切つて解散を斷行せんとするは只黨略有りて國家なきの譏を免れまい、最近實業家方面にも憤慨を求むる模樣があるに拘らず民政黨の黨略に依り解散の實現を見るかも知れぬと年初早々緊張を見せてゐる

ゐるが、それは極めて一部に過ぎぬらしい、議會に臨めば野黨の本領を發揮し

强く出る 事と信ずる、解散の時機、方法については其時に臨まねば何とも斷言できぬ仙石さんが解散回避論者だとの說があるが仙石さん「解散はよいがその前觸れは除りやるな」といふのだ、選擧の結果は駈引無しで政府黨二百四十名は動かぬ處だらう

拓相園公訪問

【東京六日發電】松田拓相は六日午前十時東京發興津に西園寺公を訪ひ政情報告の上即日歸京

仙石總裁きのふ濱口首相を訪問

重要諸問題を懇談

【東京特電六日發】舊臘來、片瀨の別莊に籠居を避けて越年したる仙石滿鐵總裁は六日歸京し午後二時首相官邸に濱口首相を訪問し懇談二時間にわたりたるが話題は滿鐵の諸懸案ならびに政局に關するものなりと推察せられてゐる

西園寺公は勿論解散異議無しさ

仙石總裁は前ぶれに反對

松田拓相の車中談

【國府津特電六日發】雨か、風か形勢險惡を豫想される休會明けの議會を前に西園寺公を興津に訪問の松田拓相は六日午前十時東京發西下の車中に於て語る

今期議會は無論解散だよ、園公の御鑑かね、公は憲政常道論者だから勿論政府の

態度を諒 せられる事は疑ひなしさ、政友會は議會解散は金解禁善後策に支障を來たすとか、ロンドン軍縮會議に影響するとか云つて盛んに貴族院や

駐支外國軍隊の撤退方を要求せん

內河航行權の回收とともに 支那本年の二大政策

【上海六日發電】外交部は今年中に支那に駐屯せる外國軍隊の撤退を各國に要求するに決定し近く行政院を經て國務會議の議決を求め各國に對し交涉開始方を照會することゝなつた、同時に外交部は各省政府に各地駐在の外國軍隊及び警官隊につき調査すべく一兩日中に命令する模樣である、これは外交部今年度事業中內河航行權回收と並んで二大政策となつて居り今年の對支外交問題の重要な一項目となる模樣である

宮尾東拓總裁試筆

滿鮮の重要懸案を愈よ具體的に協議

十日過ぎ各首腦會合

【東京五日發電】松田拓相は植民地統治に關する劃期的新政策を遂行すべく種々計畫を進めてゐるが更に具體化しつゝ、今春に持ち越された重要案件たる

一、朝鮮の自治權擴張案

二、在滿鮮人保護に關する徹底的方策の確立

三、滿鐵附屬地行政權の關東廳移管問題

の三大案件は何れも永年の懸案であるばかりでなく其の何れの一を實行するも植民地統治並に對滿政策上に新紀元を劃すべき重要案件であるが、此等の重要案件は何れも一月十日過ぎ齋藤朝鮮總督、仙石滿鐵總裁、太田關東長官等の入京を待つて愈々拓務省に關係植民地長官會議を開き一齊に具體的協議が行はれる手筈になつてゐる、右の外本年に持ち越された拓務省關係の重要案件中には

一、滿鐵の昭和製鋼所問題

二、朝鮮米の移入統制問題

三、臺灣新竹及び嘉義に市制を布く

治廢問題を支那側樂觀

【南京四日發電】國民政府は既報の如く今年一月一日より治外法權撤廢を爲す旨宣言し司法院に對し治外法權撤廢後の外人訴訟事件處置條令の立案を命じたが同條令は既に脫稿し本日立法院に送附された、同條令は立法院會議通過を待ち直ちに國民政府より公布さるゝ模樣である、同問題に對しては英國側が既に好意を示しランプソン公使が來る八日首京し王正廷氏と治外法權撤廢の方法及び撤廢後の在支英人保護に關する處置につき協議する事になつたので國民政府は極めて樂觀的態度を採り居り米佛其他の國の反對的氣勢も英國との話さへ附けば容易に挫き得るものと爲し米國との交涉開始を急ぎ其準備に忙殺されてゐる

我全權等淸遊

【ロンドン四日發電】今日のロンドンは異常の暖かさで多とも思はれず我全權は此の快晴の土曜を利用し久し振りに休暇を取りオツクスフオードに自動車を遠乘りして一日の淸遊を試みた午後は財部全權も夫人同伴で郊外をドライブし隨員連もたまの半休を得て龍英後始めてのびのびした氣分を味はつた、尙本日ユナイテツド、サービス、クラブ(英國陸海空軍の倶樂部)は我全權等に歡迎の意を表し財部全權、左近司中將、山本少將を名譽會員に推薦した旨を通知して來た

廿年餘で創業の撫順の製油工場

廿爐で月に千五百噸出油 全部の完成は三月末

國策的大事業として多くの滿鐵が苦心研究せる撫順炭礦のオイルシエル製油工場は昭和三年四月基礎工事に着手以來約一年半を費して舊臘卅日夜遂に設備全く完成し出油を見るに至つたが之にて基礎的研究に明治四十二年以來約十五年、企業化すべく大正十二年暮着手して以來約八年、前後約二十年の日子と一千萬圓の巨資を投じ其間滿鐵首腦の交迭を見ること三回に及んだ大計畫は茲に愈々實現を見た譯で山西撫順炭礦長は最初の出油を見ると同時に卅一日電報を以て大平副總裁宛工事完了し無事出油を見るに至つた旨報告し來つたが右に就き大正十二年川村社長時代以來滿鐵囑託として本計畫の實現に盡瘁せる牧野海軍少將は次の如く語る

多年國策的計畫として滿鐵歷代の首腦者並に炭礦當局が苦心された本事業も愈完成の日が來た卅日夜からスタートしたのは十爐、本月五日より六日にかけ十爐が合廿爐が出油を開始した譯で現在では粗油の出油能力月額千五百噸に過ぎぬが之は全能力の約四分一で殘餘の分は頁岩破碎機の附屬裝置の完成が遲延した爲め多少遲れて來月一杯に完成三月から全能力を擧げて出油を開始する見込尙ほ出油式は極めて盛大に三月頃行はれる筈【寫眞は製油工場】

無產黨の解散慫慂

【東京六日發電】第五十七議會の解散を最も强硬に要求してゐる無產各派では昨年末來の解散回避運動に注意を拂つてゐたが、休會明けの施政方針演說後政府が解散を逡巡する如きことある時は社會民衆黨は安部磯雄氏自から陣頭に立つて即時解散要求に關する質問を試み一方院外にても各黨夫々即時解散の大衆運動を東京其他各地に開催する豫定である

問題等があるので其成行注目さる

露國對外貿易

【モスクワ四日發電】去る十月一日現在調査のロシア對東方諸國の貿易高は合計三億三千萬ルーブルに上り其內輸出一億五千八百萬ルーブル、輸入一億七千二百萬ルーブルである、尙日本への輸出は僅かに二千百四十萬ルーブルに過ぎず輸入高の二倍に相當してゐる

利根川結氷す

【東京六日發電】關東の大河利根川は十七、八年來結氷した事がなかつたが、千葉縣印旛郡木下町地方は四日降雪あり氣溫急降し五日朝遂に結氷した

人事

▲木部守一氏(日滿倉庫株式會社長)離滿挨拶のため六日市內各方面歷訪

▲佐藤敬治氏(大連警察署出版係)灘氏の後任として着任、六日市內各方面を歷訪、就任の挨拶をなした

▲永田善三郎氏(衆議院議員)八日出帆のばいかる丸にて上京の豫定

安樂椅子

滿鐵沙河口工場では昨年末、ボイラーの蒸氣が俄に吹き出して、その前方に作業してゐた、日支工員が死傷したなど再三不慮の災難が起つたが▲それ以來工場員は言ひ合せたやうに夫婦喧嘩が無くなつたといふ▲それは危險な作業に從事する者は朝には元氣で出勤しても夕べには白骨となつて歸るかも知れぬから健康なうちはお互に言ひたい不平をいはず仲よくしやうぢやないかといふ夫婦の意見が一致したからだとある▲これが眞實の職場[illegible]た

滿蒙の支那馬(二)

壯快な蒙古の野馬狩 奇怪なる運命の騾馬

四、蒙古馬

蒙古馬は栗毛及葦毛が最も多く月毛、青毛之に次ぐ。殊に蒙古馬の特徵としては川原毛乃至月毛等淡色毛を有する馬匹は、時に明瞭なる鰻線及前後膝關節上に濃色の斑紋を有する事である。而して顏面部に於ける毛色の別徵なる星、流星などは純蒙古馬種馬中には殆ど認められない。

被毛は一體に粗剛で光澤は少ないが密生し、多期は殊に長く鬣及尾毛は濃度大にして長く、時に地上に達するものすらある。その他蒙古馬の特徵を擧ぐれば鬐甲高に對して背高小にして凹狀背をなすもの多く、顏面は體軀に比し大きくして鈍重、下顎の發育良好にして耳は長大、頸の發育良好にして頑丈なるも輕快ならず胸部の厚み大にして且つ肋骨は丸味に彎曲して蹄は直立型をなし蹄質極めて堅固なるも不整形の處が多く、胸幅大きく、脚部の諸關節良好にし部に對し腹圍大にして垂腹のもの多く、前軀に比し後軀の發育不良で體の對照上後軀極めて貧弱である、生體量は牝馬二十頭の平均量二八〇キログラム、牡馬二十頭平均量三二一キログラムである。

五、ハイラル馬

ハイラル馬は海拉爾一帶に產する、シベリア土產馬中の優秀馬にサラブレツトやオールロフロストプチン乃至コサツク馬を配して改良したもので、伊犂馬に酷似してゐるが、サラブレツトを配して改良したものは其體軀殆ど亞拉布種と區別し難く、伊犂馬に比して更に品位に富んでゐる。

ハイラル馬の毛色は青毛最も多く栗毛之に次ぐ。毛色の別徵としては顏面部に於ける星及び流星を有するものもあつて、倘脚部の下端より蹄部に白斑を有するものもあり純蒙古馬に見るやうな北線部に鰻線を有するものは殆どない。

被毛は一體に光澤を有し且つ柔軟で、鬣及尾毛は純蒙古種及伊犂馬に比して密ならず、距毛も亦少く且つ短で多期で十センチ米に達する位、蹄は黑色及暗色のものが多く、蹄質は堅固であるが純蒙古馬に比較すると弱い。

其他ハイラル馬の特徵を擧ぐれば伊犂馬に比して體高は小であるが倘純蒙古馬に比して大きく平均鬐甲高一三七センチ米である。改良ハイラル馬の一般型としては寧ろ亞拉布型と稱するよりもサラブレツト型に酷似し、型體の特徵は前後軀の對照極めて良好であるが輕快に過ぐる嫌ひあり、殊に前軀及四肢に於てさうである。胸圍の鬐甲高に對する百分率は一一四%で支那產馬中最小であるが、純蒙古馬の缺點たる臀部の貧弱及純蒙古馬及伊犂馬に見る斜尻はハイラル馬に於ては極めて少ない。

六、サンベーズ馬

サンベーズ馬の分布は甚だ廣く從つて同種の馬匹中にあつても繁殖地を異にするに從ひ、多少其型體を異にする。普通サンベーズ馬と稱する馬匹の繁殖地はサンベーズ及車臣汗地方中ケルレン河畔の草地であるが、タラ貝子及前淸時代官牧場の所在地たりしタラカンガイ地方に於て繁殖するものをもサンベーズ馬として移出されてゐる。其ケルレン河畔に於て飼育せらるゝ馬匹は型體、能力共に最も優秀で、特に其型體伊犂馬に酷似し胸が稍長いけれども全體の對照が良好で品位に富み、ハイラル馬に比し一哩以上の長距離歩に秀で、現今競馬場裡に於て長距離競走用馬として著名なる馬匹は多く此地方の產である。

サンベーズ馬の鬐甲高は純蒙古馬と稍同じく一三二センチ米で鬐甲高に對する體長は一三五%にして純蒙古馬と同じく體高に比し稍引締まれる感あり。被毛は蒙古馬に次で密にして且つ粗剛、密度も極めて濃く、鬣及尾毛は長く且卷縮性し、距毛長く殆ど純蒙古馬と同樣である。毛色は栗毛最も多く二六%に達し栗毛之に次ぐ。毛色の別徵として濃色毛殊に栗毛馬中に頭星を有するものを見、倘月毛馬に於ては前後の膝關節部に於て最も明瞭で、上下に至るに從ひ不明瞭なる濃色の橫斑を有するものもある。殊に此種の馬は背深部に濃厚なる鰻線を有し、倘胞毛及月毛馬は一般鰻線を有す。(寫眞はサンベーズ馬)

滿洲日報

治外法權問題
政治的に取扱ふは危險千萬

昭和五年の支那、例によつて問題の多かるべきを豫想せしむるものがある。內政においても、また國際外交にありても、決して平穩無事ではなさ相である。舊臘來、早くも治外法權の撤廢問題が吾人の耳朶を打ちつゝある。

反蔣運動に打勝ち、ともかくも國民政府の當面を維持することに成功した蔣介石、王正廷氏らとしては、何が何でも、この際、例の治外法權問題を提唱し、對內鬨騷の際を對外的に導くことが急務である。すなはち、何を措いても民衆の注意を、對外政策に向はせる必要がある。その對內對外政略の經緯に利用されることになつたのが、今次の治廢問題である。

然るに米、佛、伊、蘭などは最も強硬に反對の態度を示しつゝあるといふに拘らず、獨り英國のみが拔斷的に、國民政府の主張に同情を有してゐるといふ。が併し、吾人を以てすれば、英國の態度は餘りに政治的、政略的であることに危險を感ぜざるを得ぬのである。

そもそも治外法權問題の如きは、これを餘りに政治的、外交的に取扱はんよりは、寧ろ法律的に、地味に取扱ふべき性質のものではあるまいか。換言すれば、支那の實情に適應するやう、專門的に、これを裁定すべきものではあるまいか。殊にイギリスの如く、不文律を以て誇りとするほどの國家が、支那における、その國民の生命財產の保護を、演繹的に、抽象的に形づけんとするが如きは、全く吾人の怪訝に堪えぬところとせねばならぬ。不文律の英國民としては支那の社會事實に立脚し、歸納的に、その實情に應じて、立法的事項を取扱ふべきが、寧ろ本筋ではあるまいか。然るに、餘りに外交的に、また餘り政治的に、この重要なる對支立法事項を形づけんとするがゆゑに、吾人は英國の對支政策を以て、餘りに政略的なりと斷ぜざるを得ぬのである。

勿論、治外法權といふが如きことは、完全なる國家主權に對していはゆる不平等の條約であらねばならぬ。かくの如きものの撤廢は理論として當然に斷行せねばならぬ性質のものである。併しながらそは國家主權が、完全に整備せられ居ることを前提としての理論であらねばならぬ。

然るに支那の現實は如何。南京の國民政權なるものが、中央政府として形式を具備してゐる次第であるが、その名義上の中央政府なるものも、常に動搖を餘儀なくせられつゝある現實ではあるまいか。最近、報道せられ居るところによれば、蔣介石氏の地位は、あるひは閻錫山氏に讓渡せられねばならぬのではあるまいか。かくの如き中央政權に、果して治外法權を撤廢せよと大言壯語し得るの資格があるであらうか。

その上、この支那の治安といふものは、果して完全に維持せられつゝありといふことが出來るであらうか。その治安保持が、今日の如き實情を以てしては、如何に冒險的精神に富めるイギリス人といへども、その生命財產の保護を、支那の主權に委託して以て安閑たり得るであらうか。

それにまた支那にありては、在外人の治外法權を撤廢するだけにその法規、制度が完備してゐるであらうか。これまた大に疑はざるを得ぬのである。戒嚴令は、殆ど年中行事として公布されつゝあるのではあるまいか。蔣介石氏を首め軍閥の頭目らは、自分の勝手次第に、その國法をも改訂することを平氣で斷行しつゝあるではないか。立法機關も、行政機關も、また司法機關も軍事機關も、混沌として差別のないやうなところに、一度でも完全な法治國の生活を營んで來た文化人が、この土匪、黨匪、軍匪の橫行跳梁する支那にありて、治外法權なしに居住するといふことは、何としても我慢の出來ることではあるまい。

勿論われ〳〵も、南京政權の人々が、完全なる近代的國家の屬性としての不平等條約たる治外法權の撤廢に焦慮しつゝあることに對しては、滿腔の同情を表するものである。殊に吾人は、この治外法權の存在に不快を感じた體驗を有するものであるから、なほ一層の同情を有する。併しながら、物事には順序があり、如何なる理論もその理論を實施し得るだけの地均しを必要とするものである。支那の現狀には、その準備、地均しが一つも出來て居らぬ。而して小兒病的に、性急に、治外法權の撤廢に焦燥しつゝあることは、却つて國際政局を混亂と紛糾に引き入るるものではあるまいか。

紛爭解決後の東鐵新陣容
半歲目に國境開通す
新役員四日から執務

【ハルビン發】一九三〇年の新春を迎へた東支管理局及理事會は六ケ月に亘る久しい紛爭もサラリと水に流して和氣靄々たるうちに露支陣容を改め愈々東西兩國境の開通をみるに至つた、管理局にては卅一日の理事會に於ける新任ロシヤ側正副管理局長の就任に伴ひ各課長の任命をみたので同日簡單な挨拶あり、四日から初めて執務したが、今回改正された各課の顏觸れは

管理局長ルドウイ、副局長デニソフ、郭崇熙、秘書ワシリエフスキー、通譯ネチヤエフ、運轉課長カリーニン、線路課長蔡關次長フリケウイチ（一時代理としてフエリヂエングラルト）業務課長ウイトフ、次長ドルリーフ、材料課長ブージン、次長イワノフ、會計ペカルスキー、次長コールフ、總務局秘書ワシレフスキー、電話課長ザテプレンスキー、獸醫部メンチエルスキー、衞生課長ウエリク、商業部イシチエンコ、次長劉、觀測所パブロフ、經濟局イリチユーン、メーテイン、露支交涉局蔡運升、ネチヤエフ

理事會は現任理事として支那側郭福綿、王洪身、李少庚、ロシヤ側シマノフスキー、イズマイロフ、ダニレフスキーで、支那側范其光ロシア側エムシヤノフ、エスイモンド兩氏の後任は現在の處未定である

東は露、西は支
保線運轉の責任分擔
舊職各課長を任命す

【ハルビン發】ルドウイ新任東支管理局長は一千九百廿九年十二月三十一日附を以て東支管理局各課の課長及び次長を左の如く任命した旨を布告した

▲總務課　エム、エフ、ワシリエフスキー、次長張明哲
▲經理課　課長エチ、エ、ペカルスキー、次長高恩陶（ペカルスキー着任前はコートフ氏が執務する）
▲汽車課　課長カリーナ、次長裴維瑩、秘書サハルチエンコ、支那側の責任者としては裴維瑩、唐士清、事務取扱ウオイトフ
▲電話課　課長エ、エ、ザテプリンスキー、次長史宣
▲材料課　課長ピ、シ、ブジーナ（ウ、シ、イハノフ氏が課長代理）次長關裕署
▲商業課　課長ヌ、イ、イシエチエンコ、次長崔春煦
▲經濟局　局長エヌ、デ、カーチン、次長伊里春
▲線路課　課長蔡光助、次長イ、エヌ、ヒリソウイチ
▲土地課　課長フエリジエンガルトウイン
▲露支交涉課　課長蔡運升、次長ネチヤエフ
▲獸醫課　課長エ、シ、メシチエルスキー

尙東支西部及東部兩線の保線課長として東部線にエ、テ、ワシリーエフ、次長ワホススキー、檢査係長劉氏等が有力なる候補者に擧げられ近く公式に發表する筈であるが

第一區長ソユイ、ビン、鏡（支那人）第二區長マモントーフ　第三區オレーゴフ　第四區ゲトネンコ　第五區セーレネツ　第六區シヤトコフスキー　第七區オストロフスキー　ボクラニー　ハチナヤ驛長エフ、ゼーシコ　ハルビン中央驛長イ、ケブレデユーク

の諸氏が任命されロシヤ側としては東部線に力瘤を入れ各區及主要驛長はソウエート國籍人をもつてすることになつてゐる、從つて西部線は支那側の勢力範圍により擔任せしめるこれによつてみると今回の露支交涉解決の結果東支の東西兩線を東部はソウエート西部は支那側に保線運轉の責任を分擔したことになる

南征雜錄（71）
難波勝治

遺された舊蹟

彼れ程の富源に取卷かれ、これ程の商工的文化を有する廣東も、名所として特に遊客を驚嘆せしむべき者は少ない、華林寺、陳氏書院、光孝寺、花塔、光塔、海珠公園、懷聖寺、滌水樓、觀音山、七十二烈士墓といつた遺蹟は、案內者の第一に數へ立てる建築物であるが、何れも

大廣東の

盛名を實證するほどの輪奐が整ふて居らぬ、否其等の多くは曾て絢爛の美を誇つた者であらうが、時代の變遷につれて大部分は頽廢し朽敗して居る、殊に革命以後の破壞振りは甚いやうだが、その中華林寺の羅漢堂、陳氏書院、花塔、觀音山の鎭海樓などは、僅かに帝政時代の面影を髣髴せしめる片鱗であらう、私を案內した旅館の支那ボーイは、懷中物御用心と忠告しつゝ細い長い石疊の街を通り拔け、先づ華林寺の境內に私を連れ出して呉れた、寺院とは名のみで

荒廢目も

當てられず、羅漢堂の附近も塵埃が堆積して、牛と馬の糞の臭氣は紛々鼻を衝く、半ば閉め切つてある戶を叩いて堂內に入ると、幾分に並ぶ無數の佛像は流石に當時の壯觀を偲ばしめるが、瘦せた俗侶が愛想好く迎へて手眞似で說明したが、マルコ・ポーロの像前に辿り着くと特に其名を呼んで紹介する、併し通光の惡い爲に何となく陰慘な氣に充ち、急ぎ足で一廻りして外に出るとホッとする、陳氏書院は中世以後移住した

漢民族中

の有力者陳氏の宗廟で、一千八百九十年十萬兩を投じて建立されたといふ、裝飾及び彫刻が頗る精巧で、廣東美術の粹を集めた者と稱せられて居る、花塔と光塔は共に史蹟を語る古建築物だが、前者は寺門に揭げた東坡の扁額を以て知られ、後者はアラビヤ人の手澤を遺す處に特色がある、併し何といつても雄渾壯大な建造物は觀音山の鎭海樓で、專ら秀山の一角に屹立した五層の樓閣である、其處から眺めた南西平野の展望は、脚下に廣東全市を下瞰し、大江あり、遠山あり

黃埔港邊

帆影の隱見するなど、蓋し此地第一の勝地といふべきであらう、最近の名所は七十二烈士の墓で市の東郊黃花岡にある、宣統三年三月二十九日突如總督府を襲擊した一團の革命志士は總督張鳴岐の心膽を寒からしめたが、衆寡敵せず遂に目的を達成し得なかつた、その時の戰死者七十二名、革命後此を埋葬地に建て遺功を旌表したのが之である、墓碑の樣式には聊か不揃ひの憾あるが、簡素な中に莊嚴の趣きを現はし、孫文始め國民黨諸名士の題字や碑銘が嵌まれて居る

總括して

いへば廣東は遊戲に乏しい土地だが、何となく市全體に活躍の氣が漲つて居る、片つ端から舊物が破壞されつゝも、未だ新しい時代の基礎は樹立されて居らぬ、革命は廣東に新生氣を鼓吹したが其生活振りは依然舊支那の面影があつて、その住民の大部分は無智の狀態に置かれて居るやうだ、隨つて動搖が止まない、不安が絕えぬ、全支那の舊分子を敵として起つた國民黨が、屢々其發祥地の秩序維持にすら困難して居るのは何故だらうか

勿論其處

に種々の複雜な政治的原因はあるが、私は主として南支那の地理的事情に起因すると思ふ、革命直後の支那は舊式軍閥の割據に任せたが、そうした無數の舊軍閥が倒潰すると、新たに鄉土的に利害の一致しない政派の暗鬪が始まつた、それが統一の偉業を前にしての支那の惱みであり又廣東派と廣西派が相對峙して廣東の爭奪に沒頭する所以でもある

【寫眞は觀音山の鎭海樓】

吉林の有望事業
誘導生

大連其他滿鐵沿線に於て奮鬪努力せんとするも職を得る能はざる人々に告ぐ、吾等は暫く菓子屋に奉公し其製造術を會得すると同時に多少の金錢を貯蓄して宜しく奧地吉林に入て菓子屋を開業せらるべし、徒手空拳にて滿洲に出動し手に專門職も無くして土着せんとするには此位の奮鬪努力は是非共必要であり、之すら厭ふなれば土着して獨立生活の出來ぬのは自業自得と云はねばならぬ怠慢の結果として當然である、吉林は人口十五萬の大都にして電燈電話水道有り健康地にして風景絕佳なるのみならず滿鐵沿線より尙一層安全であり現に日本人は官民を合せて一千名も居るのである、而して近頃は漸く支那人の生活が向上し來つて日本の菓子を好む者が增加しつゝあるのである。

日本の貨幣と支那貨幣との相場を比較すれば前者は年々高騰し後者は年々暴落する、從て菓子の原料は驚く可き廉價と成れるに係はらず菓子屋は皆日貨建にて賣り然かも緊縮節約物價漸落の世の中に彼等のみは知らぬ顏の半兵衞をして十年一日の如く大正八九年頃の好景氣時代と同一價格を維持して益々繁昌して金を殘しつゝあるのである今頃斯かる割良き營業を他に見出す事は出來ぬのである關東州や滿鐵沿線に膨脹して滿鐵消費組合などを氣にし滿蒙發展が出來ぬなど愚痴をこぼす意氣地なし商人も宜しく吉林省城に進出して菓子屋を開業せよ、然らば思ふ存分儲けて大に財を積み得ること確實である

八面相　投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

正月の上海見物
雨中自動車を連ねて
大連からの百五名

甘酸ぱい友人達のサヨナラを聞いたのが一九二九年で、新らしく友人に持つた上海のモボから「新年進步」の立派な賀狀を手渡されたのは正に一九三〇年である、かくてツーリストビユロー主催の上海青島見學團一行百五名は、憧がれの上海の地に

望み豐かな

多く「おめでたう」の言葉を云ひ交した、上海と云ふ所は？恐らく誰もが一樣に口に出す最初の言葉であらう、旅行團一同は此アンサーを出すべく限られた短日時の間に夫々耳と目を極度に緊張して上海の街を走り廻つたものだ四年の十二月三十一日正午あくどい揚子江の水を眺め乍ら滿鐵埠頭に橫付けられる、爆竹の音が南支らしい晴やかな響きを中空に轟かす、自動車二十餘臺が一同の爲に待ちもうけられ、乘車と共に洪水の樣な勢で先づ上海の街に滑り込む、かくて一同は四班に分れ市中の

一流旅館に

宿泊する、ヤマトホテル、八代館、江星館、辰巳館宿所に宛られた旅館ではこの昭和五年度最初の團體に特に敬意を表し、飛んでもないもて樣、上海の除夜、それが如何にエキゾチツクでうら悲しいものか、枕頭にしたいよる江に滿ち〳〵した船からの汽笛のボウ〳〵と云ふ音だけでも解るであらう、元旦、生憎ジメ〳〵した雨だ、激し霧雨と云ふ奴か、豫定のプログラム通り、虹口マーケツトの材料豐富な有樣を最初に見て、ニユヨークを想はせるバンド通りに出る何れも偉大な

輪奐の美が

立並んで各國の國旗が潮風に靡つてゐる、一同はこれに「やあ英國が斷然努力があるぜ。少し大きな建物は大抵英國旗で飾られてゐる」そして一同は大連汽船、商船、正金、郵船國際等の建物に靡へる日の丸の旗に感激したものだ、一同更にしとど降る中を外人墓地から競馬場、デスフイールドをめぐり車輪を郊外に延ばし東亞同文書院を訪ひ、返路マゼスチツクホテルにおける大汽の招宴にまねかれて如何に

建築が立派

であるか一同は思はず廊下に映つた影に驚かされたものである、だがこのホテルも巷間傳えられるところによると二百四十萬兩で蔣介石の手に移つたと云ふ、けだし蔣介石隱退後のかくれ家か？一同二日は自由行動、三日の朝寒天丸で有意義な旅を終り歸連の途についた【寫眞はマゼスチツクホテルにおける一行の記念撮影】

社民黨の總選擧對策

【東京六日發電】社會民衆黨では五日午後四時より芝の本部にて總選擧對策委員會を開き赤松、島中、爲藤、松岡、小池の各委員出席し左記事項を決定した

一、各無產黨と選擧協定を行ふこと
二、議會解散の要求並に選擧運動に關する內務省令改正に對する抗議に就て一月七日全委員は內務大臣其他主務大臣を訪問
三、選擧鬪爭基金を黨員一名につき十錢以上を徵收すること

解放された露人の喜び

【ハルビン發】松浦鎭から解放され自由の天地に陽光を仰ぎみた二千名のソウエート人等は四日午前から勞農公館に詰めかけたので、同ソウエート領事館はさながら黑山の人で遂に入口廣場も身動きもならぬ程の群集である、彼等はいづれも七月來よりの俸給を受け取るために集つたものであるらしいが喜色滿面に新らしい靴や外套を着てる者もあり非常に元氣であつた

滿日地方版

奉天

竣工した奉天觀測所 一日から事務を開始

[illegible]事務を取扱ふ[illegible]時する新廳舍に設置され同年[illegible]一日事務を開始したのが抑々始まりである、その後同所が[illegible]國に還付されることになり四[illegible]年四月現在の高女校附近に[illegible]轉された大正五年七月郵便局[illegible]長速通りに設置されると同時[illegible]現在の日吉町に移轉したものである

その當時は 中央氣象臺[illegible]八臨時觀測所と云はれてゐた[illegible]九年九月都督府設置と共に[illegible]督府觀測所と改稱され四十一[illegible]觀測所奉天支所と改められ更に[illegible]官制發布によつて關東廳都督[illegible]年關東廳官制施行と共に關東[illegible]觀測所奉天支所と改稱され今[illegible]に至つたものである[illegible]新廳舍は總坪數千三百三十坪[illegible]建三百坪高さ七十尺である

「織仁親王行實」を高松宮家より下賜 奉天圖書館の光榮

舊臘三十日突然東京の高松宮家から直接當地の奉天圖書館に對して宮家に於て御編纂御發行になつた「織仁親王行實」上下二巻の大冊を御下賜になる旨の御沙汰があり同時にその現品が到着した、宮家は一般に知らるゝ如く織仁親王殿下の有栖川宮家の

祭祀を嗣 がせ給ふた御家柄で、今度高松宮妃とならせ給ふ德川喜久子姫の母君實枝子の方は有栖川宮家から故公爵德川慶久氏に御降嫁にならせられたので、高松宮家に於かせられては御因緣淺からざる織仁親王殿下の詳細なる御傳記を御編纂になられたもので今回宮家の特別なる思召で奉天圖書館に御下賜になつたものと拜察されてゐる、之に就て衞藤館長は圖書館のことですから隨分色々な方面から高價な寄贈書を受けることがありますが、今度のやうに貴な方面から難有い御下賜品を頂いたのは始めてゞす、明治の大業の

柱石であ らせられた有栖川宮織仁親王の御一代記は即ち明治興國史の最も高い表現で上下二巻に滿載された尊い御記念品の御寫眞、明治元年に明治大帝より賜つた御震翰を始めとしていづれを見ても民間學者の手の及ばぬものならざるはなく、表紙は金色燦然たる宮家の御紋をリリーフにし題簽は德川實枝子の方の御揮毫に係り、高松宮殿下の御題字が巻頭を飾つてあります、この御下賜品によつて新春匆々當館の藏書に光榮を添へたことは申すまでもないのですが、それにしても斯る異域の邊陬にある眇たる小館がどうして宮家に聽えたのか誠に恐懼に堪えないところであります
と謹話してゐた

十萬圓の拐帶犯人 押送し來る

大正十三年正隆銀行奉天支店出納係勤務朝鮮人李[illegible]元(二八)は邦人某と共謀して行金十萬餘圓を拐帶逃走し爾來當地警察署は各方面に手配りし兩人の行方を嚴探中であつたが、李[illegible]元は惡運盡きて昨年十二月天津に於て遂に逮捕さるゝに至り一日總領事館警察署に身柄を押送され目下嚴重取調中である、共謀者邦人某は尚逮捕さるゝに至らず搜査中である

鐵道警護懇談

滿鐵では來る十三日から奉天、安東、公主嶺の三ヶ所で鐵道警護懇談會を擧行することゝなり滿鐵、警察、關東廳、軍隊其他各關係者が參加する筈である、場所及時日は左の通りである
△公主嶺(小學校)十三日午前十時△奉天(滿鐵倶樂部)十四日午後二時△安東(公會堂)十九日午後一時
尚安東に於ては森岡、柴山兩少佐の支那時局に關する講演がある由

竊盜露人逮捕

カール、アフグーネストウイッチシユーレッツ(三〇)といふ住所不定の浮浪露人は三日夜十時過ぎ泥醉した上柳町方面で赤皮襲靴一足、黑皮襲編上靴一足を竊取し、西塔の朝鮮料理店前をウロついてゐる所を警官に誰何され取押えられたが、取調べの結果何處の家で盜んだのか自分でも覺えないといふ呑氣さである、靴は警察に保管してゐるから心當りの人は屆出でられたいと

哈爾賓

露支避難民を無料で診療 赤十字社の後援で 我總領事館の美擧

露支紛爭の餘沫を受け家は燒かれ衣類、家財は支那兵のために掠奪されブハト以西の露支人避難民約三千五百餘名は僅に露命を繼なぐためにハルビンに脱れ來り救護を受けてゐるが、八木總領事は最近彼等避難民のうちに重病に罹り醫師の診斷は素より藥餌さへ得ることができぬ哀れな狀態にあるので日本赤十字社及滿洲支部の援助のもとに無料診察をすることになつた、これを聞き傳へた彼等は非常に喜んでゐるが尚一月五日には第二回の斷食祭を行ひ寄捨により彼等を正月氣分に浸らしめやうと在哈ロシヤ人間では各新聞社が率先し運動をしてゐる

ダリバンク開業 從前の通り

支那官憲のために閉鎖されてゐたダリバンクは何市政局長の監理で臨時清算委員會が組織され職務員に對する殆ど拘束的の處置を執つてゐたが哈府の交渉により愈々從前と同樣開業することになり本年早々キタイスカヤの舊家屋で事務を執ることになつた

海拉爾の狀況

ハイラルの狀況に就き同地から來哈した一露人は語る
ハイラルは廿三日まで露軍が保證占領してゐた、約一千名の軍隊で司令部は其れよりも早く引揚げた、廿四日は露軍代表の惜別宴が催され蒙古人が招待された、席上司會者はソウエート聯邦とコロンバイルの經濟的協調を說き兩民族の親善關係を高唱した、露軍の撤退後ハイラル市の秩序は蒙古人の巡警により警戒されてゐる、コロンバイル青年黨の獨立運動は相當根强いものがあり、蒙古活佛の勢力も漸次衰退の傾向にある

東鐵の祭休日

東支鐵道にては一九三〇年の祭休日を左の如く決定した
一月二十二日レーニン誕生日、二月革命記念三月十二日、五月一日、九月三日奉露協定成立、十月革命記念十一月七日

松江餘滴

大連からの特信だと協報と云ふ新聞が排日の記事▲井氏の蛙[illegible]で勿論反駁する程の價値はないが、マルデヒステリツクに罹つた女のやうだ▲これでは東支鐵問題でロシヤからガンと一喝喰はされたのも無理はない▲自制と自覺のない衆生は濟度しがたい▲黃泉の孔子も五千年後の民衆が依然として變らぬに號泣してゐることだらう▲「緊縮だよ君、加藤總裁に聞いて吳れ給へ!」と箱崎鮮銀君の說明▲ナール程鮮銀も緊縮整理のうちに[illegible]いてゐると思ふたら▲支那側が六十餘名を招待して一夕の懇親宴▲金を貸して御馳走する處に節約の意義がある▲箱崎君の眼光も稍細く闇くなつたのだらうと町の噂▲東部線が開通して浦鹽同特產が出廻るとなれば今度はゴストルグでも招待し金を貸すことだネ▲滿洲に於けるイヤ北滿にある鮮銀支店はこれで能事終れりと云ふものだ▲急がしい師走のくれも過ぎた▲悠くりやることゝ▲其ればかりならまだしも哈大洋の舊票を新票と交換する便宜をはかつたまでは見事だつたが▲一日の交換高が一定せぬ上に愈々取扱つてみると二名の行員が其れがため手が放せない▲其れに一日四五萬元を手もとに置いてゐると金利が損▲これでは困りましたから今後は一切取扱ひませぬとペチヤンコになつた▲金利を最初から計算せぬ銀行屋さんは箱崎君だからだらうと當局方面での話

日蒙親善の叫び

青島 吉田辰秋

滿洲には理窟に合はぬ流行のコントラストがある。支那側に「排日運動」が流行的に示威せらるゝ反面に、日本側には「日華親善」が高唱せられる。

どんな偉い 人でも、滿洲では「日華親善」を叫ぶことが流行のやうにせられてそれを旺に繰返すが、この二つを對照して見ると誠に妙なものである。支那人が排日運動をやることに向つては勿論直ちにそれを非であるといひ得るが、日本人が日華親善を叫ぶのに對しては、恐らく支那人と雖もそれを非難することは出來まいそれだけこのコントラストには支那側の不誠意がハツキリしてをる譯である。このこの支那側の不誠意についてはあらゆる日本人が不快の觀念を抱き、その覺醒を喚起すべき何等かの方法を考へる際であるが。

その意味に 於て私は「日蒙親善」の叫びを擧げたい。元來日華親善といふのは日本と漢人種との關係で、經濟觀念には過去幾千年來の永い歷史的刺戟から世界一といふ鋭敏な頭腦を持つ漢人種に向つて、近世漸く經濟的に發展した日本が經濟提携を結ばんとし親善の實を得ようとすることは、譬へば懷刀を抱く阿婆摺れ女に戀を囁くようなものだ。若し利害相反する時は忽ち懷刀を閃かして抵抗するは當然のことで日本としてみれば、その阿婆摺れを抱擁することが眞の親善かも知れぬがしかし眞性の戀を植ゑ心底に

誠が生れる ように仕向けることは可能なりや否やだ。日本は今や世界一の好男子である。文化、經濟、生活各方面に異常の發達をなし押しも押されもせぬ男振りだ。支那は老大國と雖も國民的に見れば教育、政治其他猶未だ蒙昧そのまゝでその女振りは醜い。そこで日本の男振りに命懸けの戀をしてゐるものがある。それは又天下稀に見る不別嬪ではあるけれど。蒙古は教育が無く無智である生活は生存競爭の圏外に立つてゐるから利害の觀念に薄い、牧畜と念佛で日を送り、蒙古民族を宗教的に統一しつゝある喇嘛も、逐年

漢人種移民と各地族長の 漢人化によつて經濟的に壓迫せられて行くばかりである。一面に非常な勇猛心があり武力的に優者であるのも經濟的に壓倒せられて漸次滅亡の厄運を促進しつゝある。この蒙古はその救濟を漢人種以外に求めてゐる際が、どうして日本人の耳に入らぬのであらう。日本が日華親善を高唱する根據が眞に東亞平和の爲めであることに自覺するならば東亞平和の爲めに蒙古民族が叫ぶ聲を、もつて親切に傾聽せなければならぬ。それが不別嬪であつても、その點に思ひ及ぶ時は

肱鐵砲をく わす譯にはゆくまい。迚も眞性の戀が成立しそうもない日華親善を高唱する前には、それよりも日蒙親善の聲が何故日本人に叫ばれないのか。日蒙親善が圓滿に成立し進行する時は、日華親善は支那の方から政治的にも經濟的にも、必然興るといふ眞理が、今迄の方面にも等閑にせられてゐるのは不思議なことである。滿洲の人々に殊更「日蒙親善」の叫びを擧げて貰ひたいと思ふ。

長春

里見志賀兩氏

小說家里見弴、志賀直哉兩氏は三日朝來長、同日吉林往復同夜哈爾賓に向けて出發したが、兩人とも支那服に身を包み滿洲の寒さに屁古垂れてゐた

奉天記者團

奉天記者團は舊臘三十一日朝來長吉林往復、ヤマトホテル一泊四日夜長春で解散した

富士町にボヤ

正月匆々二日に富士町四丁目と羽衣町一丁目にボヤがあつたが損害は輕微である

撫順

正月の殺人騷ぎ 支那人滅多斬にさる 原因は賭博の結果か

三日午前六時目出度き春に反きて血腥さき慘殺事件が撫順に於て突發した、場所は新屯苗圃附近本籍直隸生れ李[illegible](三〇)が支那刀樣のもので顏面其他を滅多斬りにされ悶死してゐた、急報に接した撫順署員馳付調査の結果同所は足一歩で管外である事判明犯人其他不明のまゝ引揚げたが原因は賭博の果ての兇行らしい

消防出初式 六日擧行

撫順に於ける恒例の消防出初式は六日午前十時より華々しく擧行された、定刻まづ松本消防隊長の指揮のもとに本部隊員一同消防隊車庫前に整列寺田署長の點檢、諸器具檢查ありて放水ポンプ自動車器具自動車その他數臺打連れ警鐘を打鳴らしつゝ火消姿も勇敢に全撫順を一巡、それより豫て工務事務所の手でしつらへたる驛前廣場に於ける六十數尺の高さに急設した提灯落の放水試驗を行ひ右終つて本部に於て祝宴に移つた外に古城子坑その他十個所の消防隊も各部署に於て出初式を行つた

開原

出初式 四日擧行さる

消防出初式は恒例により四日午前十一時消防隊構內に於て擧行された定刻構內に整列し人員服裝並に器具點檢の後村田署長の訓示並に川崎所長の訓示遠藤監督の挨拶あり、同隊樓上に於て開宴遠藤監督の同隊取扱事項の報告並に挨拶、佐竹地委議長來賓を代表して祝辭あり宴に移り午後一時頃散會した

鞍山

山本浩氏遂に逝く 爆破の犧牲者

大孤山採礦爆破の大椿事の際重傷を負ひ鞍山醫院に入院加療中であつた山本浩氏は遂に三日死亡したので四日午前十一時より齋場に於て採礦總局葬となり所長各課長市民多數の會葬者あり、久留島總局長の弔辭續いて同窓生總代水津利輔氏の弔辭あり盛葬であつた

盛大な新年宴

鞍山製鐵所長千秋寬氏は五日午後五時より敷島町實業協會堂に於て林所長、松木署長、井上局長、太田驛長、加藤協會長、間野院長、矢澤、日向兩校長、地方委員、區長等を招待し盛大なる新年宴會を催した

中木氏離鞍

關東廳の異動に依り辭職した元鞍山警察署保安係主任中木三次氏は五日午前九時二十一分發列車にて林所長、松木署長、加藤協會長、其他官民多數の見送りを受け朝鮮經由鄉里に向ひ離滿した

福運者は誰か

鞍山輸入組合主催の舊臘大賣出しの福引景品白米五俵が今日まで引換者がないので當局は困つて居る、當籤者は七日迄に引換せぬと無效になると

二十三日	三三二三號
二十五日	四四〇三號
二十八日	五三四七號
二十九日	五八二三號
三十一日	四〇一四號

大石橋

龍攘虎搏の猛鬪 觀衆の血を沸かした 在鄉軍人會支部武道大會

在鄉軍人會大石橋支部の銃劍術並に軍刀術の競技會は五日午前十時より滿鐵倶樂部道場に於て催された、遼陽以南瓦房店に至る各分會の選手總員四十八名來賓其他百餘名整列するや高木支部長は挨拶を兼ねて試合に關する訓示を爲し、國司少佐審判委員長となつて試合を開始午後十二時三十分各分會一般競技は終つたが優勝選手權を得たのは左記諸氏であつた

銃劍術 (鞍山分會)白井計八外二名(遼陽分會)江頭鐵男外一名計五名
軍刀術 (遼陽分會)德臣豐次郎(鞍山)荒川好一(瓦房店)楠原金一

晝食後同一時より優勝選手の決勝戰を開始各分會の役員選手は勿論參列者一同極度の緊張裡に銃劍術の猛烈なる大接戰に鐵火迸ばしるの感を深からしめたが結局左の成績となつた

銃劍術 ▲一等(鞍山)白井計八▲二等(遼陽)江頭鐵男▲三等(鞍山)市川甚四郎
軍刀術 ▲一等(遼陽)德臣豐次郎▲二等(鞍山)荒川好一▲三等(瓦房店)楠原金一

次いで午後二時三十分賞品授與式を終り公會堂の宴會に移り高木支部長の講評を兼ねての挨拶、來賓代表河內事務所長の挨拶あり伊藤地方委員會議長の音頭に和して大石橋支部の萬歲を唱へ國司少佐の發聲に各分會の萬歲を三唱し午後四時解散した

瓦房店

電燈料金の引下を斷行 愈よ一月一日から

既報の通り豫て關東廳に認可申請中であつた瓦房店電燈株式會社の電氣供給規程は十二月二十七日付を以て太田長官の認可ありたる爲め愈々一月一日より實施する事となつた本改正の內容は大體滿電の例に倣ひ電氣供給規程の根本的改正並料金の値下等で會社は時勢に鑑み幾多の犧牲を拂つて之を斷行するに至りたるもは在住民も其心勞を多として居る料金値下の主なる點は

一、從量燈 從來十燈以上でなければ出來なかつたのを五燈以上從量燈となし料金も一キロ時二十五錢單一制が二十二錢より十四錢迄の塊量遞減になり準備料一燈に付二十五錢を二十三錢に但し配線會社持の場合は器具損料として五錢申受くる事となつた

二、定額燈 十ワツト一圓廿錢三十ワツト一圓五十錢四十ワツト一圓七十錢六十ワツト二圓三十錢に改め從來より十錢乃至三十錢の値下となつた

尚配線が會社持の場合は別に器具損料として五錢を要すと、以上の通りで目下同會社は値下の準備に

忙殺されて 印刷物等も間に合はないのであるが、出來次第發表すべく田家及熊岳城方面は多少趣きを異にして居るので別途に改正せらるゝ筈

新年所感

世界交通の焦點たる朝鮮

朝鮮總督府鐵道局長 大村卓一

乾坤一轉茲に昭和五年の新春を迎へ、二十世紀も最早三十年の歲月を重ぬるに至つた。世は不景氣とか緊縮とか謂ふけれども、我國運は益々隆盛に趨き世界の事象は間斷なき進步を續けて居る、而して其進步の先端を行くものは何といふても交通機關の發達である。海に船舶、陸に鐵道自動車、空に飛行機飛行船、其他「ラヂオ」や「テレビジョン」の

普及の程度 を考へて見ると平面的にも亦立體的にも交通通信機關の進步發達は實に現代に於ける驚異の一であつて他の總ての事象は之に引ずられて進みつゝあるかの如く見へる。近時海陸及び空運等の交通機關の長足なる發達により世界は著るしく縮小せられ歐洲より大西洋を橫斷して米國に至り飛行機、大陸橫斷鐵道及び長距離自動車等に依つて太平洋岸に出で又海にはパナマ運河の航運に依つて東洋との交通著るしく促進せられ、一方歐洲よりシベリア鐵道を通じ、滿洲朝鮮を經由して日本に來る、即ち我國は愈々完全に世界の大道圏內に入つたのである。依つて鮮滿は東西兩洋を通ずる

世界交通の焦點と目す べき主要なる位置を占めんとするに至つたのであるが、此環境にある我鮮滿の八百哩に亘る一帶の國境地域を開發せられ之を經濟化し世界文化の圏內に進み行かんとしつゝある矢先き、本年は緊縮豫算の爲めに鮮內に於ける此方面鐵道の延長は一寸停頓の狀勢を示し、年內には圖們線の一部二十數哩が新に開業せらるゝに過ぎないのは遺憾である、之が例の吉會線を海港に結ぶ主要幹線の一を成すものである、私設鐵道に在りては全南光州麗水間の百哩を始め黃海線は海州に達し金剛山鐵道は金剛山口に延び、京南鐵道は群山對岸より一部營業を開始するに至るべく是等を併せて百數十哩の鐵道が鮮內に延長せらるゝこととなるであらう。

自動車に依 る道路輸送も展々として各道に普及を見、又昨年夏より開始せられたる內地と半島及滿洲を結ぶ飛行機の空運も益々其の利便を增進せんとし本年內には朝東京を出發して其の日の午後に京城に着し翌午前中に大連に着することになるであらう。斯くの如く兎にも角にも總ての交通機關が各々其特長を發揮し順調に進んで行きつゝあることを考へるときに決して悲觀を要せないのである、況んや本年は其初頭に於て「エンバゴー」は解除せられ我國は世界の經濟界に一層の重きをなして眞の金本位國となり、是れから積極的に產業立國の大方針を具體化せんとする最希望に輝く新らしき年である。夫れに付けても產金國たる朝鮮半島は一段と

其年產額を 增し或は一千萬圓を突破して內地產額に拮抗するかも知れないと思はれる。其他の鐵鑛及農產林產水產工產等各主要產業の發達は勿論舊年からの懸案たる昭和製鋼所も之が解決を見滿洲と朝鮮の合作とも見るべき五十萬噸の鋼鐵が製產さるゝに至るは强ち空想でもなかるべく、咸南十八萬キロの電力は各種の合理化產業を生んで殷賑を加へ、又北鮮一帶の處女地も何日までも火田民の荒すが儘に放置せらるゝことなく開發の一途に進み鮮滿の經濟的結合も漸次鞏固を加へ行くであらう、交通は產業を生み產業は又交通を生む、而して交通は更に交通を生んで凡ゆる進步の先驅をなす、先驅進まざれば後續停らざるを得ない、

停頓は退步 を意味する加ふるに其間種々陰鬱なる氣分を釀成して往々面白からざる世上の事象を發生するに至る虞なしとせぬ、故に吾々は此の財界更始一新の年に於て徒らに消極的萎縮に傾くことなく寧ろ緊縮を緊張と心得此機を利用してあらゆる事業の經營に對し管理技術の各方面に亘り眞劍なる研究を遂げ所謂產業合理化を促進して我半島の地方的國內的經濟を國際的經濟にまで押し進める爲めに國境を通じて鮮滿を結ぶ交通機關の普及達成に努むべきである、吾々の從事する交通事業も亦產業の一分野である以上深く思ひを此處に潛め內鮮二萬の從事員は發奮一番互に力を竝せて公衆に對する業務上の改善は勿論冗費を節約して事業の經濟を念とし、絕へず

希望に輝き つゝ交通業者としての使命を完うするの一大覺悟を要する、大方の諸賢我等の微衷を諒とせられ御援助を吝まれざらんことを切望する次第である

天津

小越氏逝く 奇行と逸話に充ちた 黃河治水策の先覺

「今にして黃河の治水を行はざるに於ては、河南、山東、江蘇、安徽の省民を奈何せむや」と叫び其水源を青海に探り河口を利津に見て黃河を研究すること二十餘年、日支双方から禹の化身或は黃河王と稱せられてゐた小越平陸氏は舊臘九日東京で長逝された旨新春早々當地に傳へられた、在津知友は

◇―その命日 たる九日ささやかな法要を營み追憶談に耽つて其冥福を祈ることになつてゐる氏は新潟縣人少壯海軍に志し一水兵として浦鹽に在つた時日清の風雲急を告げ遂に志を改めて滿鮮の野に馳驅したのが大陸入りの始め爾來得意の漢文を有つて奉天、上海、濟南、北京に新聞記者として働いたり「蠻女橫長刀」の長詩を賦して雲南に苗族の娘と

◇―戀愛生活 をつゞけたり、靑島戰には通譯官として神尾大將の帷幄に參じながら生胡瓜と高粱酒を攜へて戰線を彷徨し獵探の嫌疑で捕へられたり、甘肅で難船して無一物となり當時の小幡公使に救はれながら爲替送金の不平をぞノして政府を罵倒したり、八達嶺の長城で

◇―泥醉して 股間の一物をサラケ出しながら寢てゐたり、天津の旗亭に故中西正樹翁と飲む高粱酒を呷つて藝妓を驚かしたり、其奇行逸話の枚擧に遑がない程である、而して其黃河治水策は全く世界第一人者で

「黃河の幾百年目に週期的に氾濫するが今や其時期に到達した若し現在のまゝ拋棄して置けば中部支那は大海に化して了ふ之を救ふのは土匪馬賊の如き支那の政權者でなくて實に日本人でなくてはならぬ」

といふのが持論であつた一隻眼を具へた對支文化事業は超現代的支那通として畏敬されてゐたのに今やこの人亡し、支那問題の關係者は今さら寂寥の感に堪へないものがある

營口

牛莊昨年度入港船 露支紛爭影響で總噸數增加

昨四年中牛莊港へ入港した船舶は千四十七隻總噸數百二萬七千六百五十六噸で之が國籍別は左の如し

國籍	隻數	噸數
日本	三四五	三七八、五九二
支那	五二三	三九五、一五四
英國	一三四	一九一、六四四
諾威	二〇	三四、一二八
獨逸	七	六、三四二
佛國	六	一、三五六
和蘭	三	五、四六六
伊國	六	四、〇〇三
芬蘭	一	九二四
丁抹	一	四、七一〇
米國	一	五、四三七
合計	一、〇四七	一、〇二七、七五六

前年に比し三十三隻減總噸數に於て十二萬七千四十噸の增加を見た右は露支關係のため露國貨物南下の增加に因るもので海運界は稀に見る殷賑を呈したるが市中への數量は比較的僅少であつた

吉林

實現した副領事增員 二月頃着任

吉林の如き對支重要地の總領事館に從來副領事の設置なきことは甚だ不合理であり、歷代の總領事よりも屢々本省に申請されつゝあつたのであるが、本省に於いても各種の關係で今日迄實現を見なかつた譯であるが、今回愈々舊臘二十八日附で副領事長岡半六氏に吉林在勤を命ずる旨發表され茲に多年の願望が達せられたのである、因に長岡副領事は明治二十五年生れ岩手縣の人で同文書院商務科出身、嘗て大正六年二月より同八年十月迄吉林總領事に書記生たりし緣故の深い人で大正十二年副領事となり同時に米國大使館勤務を命ぜられ今日に及んだのであるが氏は目下歸朝中であり其着任期は多分二月頃となるであらうと云れてゐる

遼陽

婦人會互禮會 七日偕行社で

遼陽木曜婦人會(改め遼陽婦人會)では七日午前十一時から偕行社に於て新年互禮會を開催すと會費七十錢服裝は銘仙程度と云ふ申合せである

警察署員互禮會

遼陽警察署員は二日三日の兩日に亘り振武館に於て新年互禮會を催した

人事

▲菊池警部(遼陽署) は舊臘三十日着任三十一日山田高等係の東道で各所歷訪

安東

梯子乘も勇しく 新義州の消防出初式

新義州府消防組の出初式は四日午前八時より新義州署構內に於て行はれた式は午前八時モーターサイレンを合圖に構內へ集合した組員に對し佐伯警察部長の人員點檢、同機械器具の檢査あり石川知事、佐伯部長の訓示に次いで伊藤府尹の挨拶、古市署長の講評で十時終了した組員は式終了後例年の如く梯子乘りをなしながら午後六時頃迄府內を廻り威勢のいゝ所を見せた尚同夜六時半から三福にて慰勞宴が催された

安東署の新陣容

安東警察署は年末に際して署長以下幹部級の大半が異動したので新春早々陣容を新たにした、即ち高山署長統禦の下に鮫島警部は警務主任に、大場主任は從來通り保安主任の外に衞生主任を兼ね、國武警部は司法主任、藤島警部は高等主任を承り茲に國境警察署の整備は完全に成つた

乘客は減少 正月の安東驛

暮の三十一日から正月三日間の乘降客から見た安東驛は緊縮節約の新年は廻禮の屠蘇氣分を他所に休みを利用しての旅行客が多からうとの豫想は裏切られて平日よりも大分少なかつた

氷滑競技會へ選手遠征 四氏二日出發す

全日本氷上競技スピートスケーチング選手權大會が來る十二、三兩日青森縣八戶リンクに於て開催される事は既報の通りであるが安東スケート部よりは木谷、石原、大澤の三選手と吉岡正臣監督が去る二日盛大なる見送り裡に遠征の壯途に就いた

年賀郵便減少

安東郵便局に於ける舊臘の年賀郵便引受は總計六萬九千七百四十六通にて前年に比し二千二百十三通の減少を見た

滿倶道場の武道寒稽古

滿鐵倶樂部道場では六日より二十一日まで毎日武道寒稽古を實施し時間は左の如くである、尚初心の參加者には能ふ限り便宜を與へて歡迎すると

幼年組 午後四時半より一時間
青年組 午後五時半より七時迄

警察署職制決定

署長以下幹部二名の異動を見た當地警察署では左の如く職制を決定した

高等係主任 市丸警部補
衞生係主任 川島警部補
司法係主任 畔地警部補
保安係主任 阿部警部補
外勤監督 千葉警部補

滿鐵昇級者

滿鐵々道部の准職員昇級者氏名は十二月卅一日附社報で發表されたが當地在勤社員中昇級せしは左の如し
機關區 相馬秀一、藥地陽吉、伊倉義雄、佐假重定、岩瀨虎二
驛 渡邊喜一郎、小林竹[illegible]

鐵嶺

消防出初式 四日いと盛大に

鐵嶺滿鐵義勇兩消防組聯合恒例の出初式は四日午前十時警報によつて消防っを召集神社境內に集合し點檢の後神社に參拜花園町路上に於て青木署長より被服器具の點檢次いでポンプ運轉試驗あり正午より公會堂に於ける懇親會席上青木署長の訓示藥師神義勇消防隊長の謝辭齋藤滿鐵消防監督の挨拶に次いで小野院長發聲の下に兩消防組萬歲一同唱和宴に移り奏妓の酒間斡旋鐵嶺ホテル萬安の餘興消防組員の飛入餘興等あり一時半閉會した

夫と口論して妻の劇藥自殺

三日午後六時半頃當地縣町四丁目[illegible]機關區苦力宿舍居住孝大甫の妻李氏(一七)は同日夫大甫と口論して毆打されたのに昂奮した揚句重クロム酸加里を嚥下し九時半頃死亡した

○……鐵嶺漫筆……○

○年末年始の爲め殊の外忙しく通信も暫く御無沙汰してゐたが屠蘇氣分も漸く醒め亦復奔馬の如き勢ひで馬力をかけます▲舊に倍して御愛讀と御引立の程願ひます▲緊縮の正月は流石に年賀訪問も無く市中は淋しいものであつたが丈夫な人間が終日家の中に居るといふ事は誰でも苦痛だと見え矢張り外へ出たくなる▲出れば廻禮謝禮の申合せで行き場所が無く勢ひ料理屋へ▲ヤア君も來とるか俺も來た正月氣分で大に飲まふ……なんて▲何處に幸ひがあるものやら世の中は一寸先きが闇▲緊縮のお蔭で今年は料理屋が大繁昌なんて辻褄の合はない正月であつた

金州

消防出初式 六日新市街で

當地消防組の出初式は六日午前九時より城內警務課に集合同十時より新市街に於て擧行する筈である

池田氏出發 平井氏六日着任

今回當民政支署警務課長より普蘭店民政支署長に榮轉せる池田公輔氏は六日午前九時四十一分金州驛の急行にて家族同伴赴任、後任の總務課長平井齊三氏は同日午前十一時三十六分金州着の列車にて家族同伴着任した

石川氏送別會

今回當地內外棉支店長より青島支店長に榮轉せる石川作次郎氏の送別會は[illegible]五日午前十時より內外棉倶樂部に於て開催された

コドモページ

懸賞童話（一等）雪の降る夜（中）

敏浩二郎

「…お父さんが居なくたつて…僕…寂しくなんかないよ」

…だが…お父さんが留守だといふことは、確に、照夫さんにとつて、何かしらら寂しいものでした。

わけても、今夜の靜けさ……。

……照夫さんは、道子さんのいふ通り、お父さん子でした。……道子さんがお母さん子である樣に

「……お母さん。…姉ちやんはうそいつて居るのよ」

照夫さんは、お母さんに、訴へる樣にいひました。

「……照夫さんは、男ですからそんなことはないと、お母さんも思ひますわ」

お母さんは、ほゝえみながらいひました。

「…えゝ、お母さん、僕、ちつとも、寂しいなんていふことはないの……」

照夫さんは、趣き出してしまひました。

「…お父さんが居なくたつて、お母さんも居るし、それに姉ちやんも居るし……」

……ぢや、何故、今夜に限つて照夫さんは眠れないのでせう。

照夫さんは、お母さんのわきにすわつてしまひました。

「…寂しいなんてことはないの…」

「…そうでせう。お母さんも、さう思ひますわ」

お母さんは、照夫さんの頭を優しく撫ました。

「でもね。お母さん……」

「……？」

「……雪のふるのに、お父さんのつとめは、辛いだらう……と、思つたの……僕……」

「……………」

「…そしたら、どうしても、眠られないの……」

「………」

お母さんは、腹の方から胸の方に熱い石の塊の樣なものが、大急ぎで、込み上げて來るのを、知りました。

お母さんはそれを、ジットこらえました。

しかし、眼頭の熱くなつて來るのを、どうすることも出來ないのでした。

……横町から吹き通す風に押されたのでせう。窓硝子に雪の當る音が、サラ／＼ときこえました。

「……外は寒いでせうね……。お母さん」

照夫さんはいひました。

お母さんは靜かにうなづきました。

オヤスミモ ケフカギリ

アスカラガクカウ ガハジマリマス

タノシカツタ オシヤウガツノ オヤスミモ イヨイヨ ケフデオシマヒ ニ・ナリマシタ。アス カラ ハ ダイ 三ガツキノ オケイコ ガ ハジマリマス。ミナサン ハ コノオシヤウグワツ ナニヲシテ アソビマシタカ スゴロク ヤ カルタナド ヲ シテ オモシロク アソンダ カタモ アルデセウ タコアゲ ニ ムチユウニ ナツタ ヒトモアルデセウ。ヤスミノアヒダ スケート バカリ ヤツテヰタ ゲンキモノ モ アルデセウ。シカシ オヤスミモ ケフ カギリデス カラ アス カラハ マタ ココロ ヲヒキシメテ シツカリオベンキヤウ ヲ イタシマセウ。

童謠（二等）母ちやんお使ひ

春日小學校四年　檀原哲

ヤンチヨウ、ライパ
ヤンチヨウ、ライ
車ニイヤが
やつて來た
いつもの樣に
いそがしい
かあちやん車に
すぐ乘つて
ニイヤン、ニイヤン
快々的
ニイヤは走る
エツチヨイ、チヨイ
かあちやん之から
どこへ行く
山縣通に
お使ひに
そして歸りに私に
わたしのおもちやを
買つて來る
ブン／＼ヒコキも
買つて來る

童謠（三等）雪の夜

日本橋小學校五年　齋藤郁子

おとうさまおかへり
お外はさむい
ペチカ眞赤に
どん／＼たいて
くみちやん
あみもの
私はししゆう
兄さんおべんきよ
お外はさむい
なべやきうどんのこえ
なほさむい

兒童の作品　霧の朝

常盤小學校五年　宮内秋子

あんまり内が暖かいので、外に出て見ると、一寸先も見えない。私は内にはいつて弟を呼んで來た。弟は「姉えちやん、ちつとも見えないね」「うん」「松井商店も見ないね」「姉ちやん人が歩いてゐるの」「さうよ」「康つちやんブラジルの人道に出て見よか」「出て見よ」「姉ちやん電車のおとが」「康ちやん向ふから何が來よると思ふ」「姉ちやんは」「姉ちやんは人だと思ふよ」「僕も人だと思ふよ」「康ちやんなんか人のまねばかりするからきらい」「だつて僕だつて人だと見えるのだもの」「そしたら康つちやん、日本人かくりーかあてやいこをしよう」「姉ちやんはくりい」「僕は日本人」私はどうかクリーであるやうにと思つて見てゐるとその棒は私の方へ近よつて來た。見ると、くりいが天びん棒を肩にしてゐた。「姉ちやんの方があつたよ」「だつて僕くりいていはうと思つたけれど姉ちやんが先にくりいだつていつたからしかたがないから日本人んていつたのよ」「馬鹿だねくりいといへばいゝのに」「だつて姉ちやんが又おこるとか思つてゐはなかつたのよ」内にかへつて支度をして學校に來る時にはもう霧はなかつた。

オコトワリ

大チヤン ノ モウジウガリ ハ ケフ カラ ノセルハズデ シタガ ツゴウ ニ ヨリ メウニチ カラ ノセルコトニ イタシマス。

學校と家庭

滿洲つ子に完全なる搖籃を與へよ

丸山英一

◇長年滿洲の教育にたづさはつて居る我々にとつて、心强く思はれるのは年を追ふて滿洲生れの兒童生徒の增加することである。

◇小學校にあつては其在籍兒童の七十五パーセントから八十五パーセントまで、中等學校にあつては其在籍生徒の五十パーセントから六十パーセントまでが、滿洲つ子であることは統計の示す所である。

◇ある一定の土地に生れた子供は各其土地に於て生存し、生育し、活動する權利を有して居る。アメリカに生れた邦人の子供ですらなほアメリカ市民として登錄せられアメリカ市民としての權利を享けて居る。

◇滿洲の天地に生れたものは、當然滿洲に於て生存し、滿洲に於て敎育をうけ、滿洲に於て活動する權利を主張すべき資格を有して居る。何となれば滿洲こそ彼等の搖籃の土地であり、そして又彼等の墳墓の土地であるから。

◇曾て、私は鐵嶺に於ける故金子雪齋先生の墓前に立ち、あたりを展望して邦人の墳墓の少ないのに驚いた。又、或日滿洲に來遊した一外人が、此地に何故に日本人の墓がないのかと訝かつたといふ話を聞いて居る。たしかにこの外人の觀察には意味深長な諷示が含まれて居る。けれども私は玆に滿洲に於ける墓地の有無、多少などを云々して慨嘆することはしばらく控へたい。何となれば滿洲つ子はまだ廿五歳に達するか、達しない位の若者であるんだから。

◇然らば滿洲つ子に完全なる搖籃が與へられて居るか。成程年々地方費の膨脹が呟かれながらも、小學校の校舍だけは建られて行く。しかしそれからさきの搖籃はどうか。この地がその儘に自分の鄕土でありながら、この土地に於て中等教育を受けんとしても受け得ない滿洲つ子はないか。そして又實業補習教育の施設はどうか。

◇更に高等教育についてはどうか自分の鄕土が有する醫窓大學豫科工學にすら、なほ門戶を閉ざされて入る事を許されぬ滿洲つ子の恨は深い年と共に。

◇其他女子專門の設立、高等商業高等學校等々の建設。これまで幾度か要望されて達成せられない計畫が、何とそれ多いことであらう

◇そして一方滿洲つ子の數は年と共に增大して行く。

◇私はこゝに新しく迎へ得たる年に對しても、又來るべき年に對しても根氣よく、滿洲つ子の代辯人として彼等の鄕土に於ける搖籃の完備を說くものである。

教育漫言

◇希望に輝く昭和五年は明けた。本年の敎育界は如何に展開するか。

◇先づ新任學務課長の雙肩に幾多の希望がかけられる。沈滞せる關東州の敎育界を新課長は如何に打開してゆくか。

◇新任者の常套語たる「白紙だから」の陰にかくれて單に員に備はるだけの課長でないことを信じて疑はぬ。

二人組のピストル强盜 日本人藥屋を襲ふ

電話線を切斷しておどかし 現金を奪つて逃ぐ

【公主嶺特電六日發】五日午後五時十分市内柳町一丁目藥種商山本茂之丞方に顧客の如く裝ひたる二人組のピストル强盜來り、賣藥を色のかたはら雜談に時を移し家内の樣子を見きわめ主人が油斷の隙に乘じ突如ピストルを突きつけ家人を脅迫し、一賊は電話線を切斷し型の如く威嚇して金品を强要し現金六十餘圓を强奪し水源地方面に向つて遁走した、この急報に接し警察署は市中特別警戒の折柄各所に警戒中の警官に急報手配し嚴探中、警戒網を突破し水源池附近に逃げ來りたる二賊を發見し逮捕に努めたが、賊はピストルを亂射し脱兎の如く暗中に姿を消したので警察署は總動員を行ひ嚴探中である

銀翼を連ね 帝都へ初飛行

所澤飛行學校の廿五機

【所澤六日發電】所澤飛行學校の帝都訪問初飛行は六日午前十時當地發、總指揮官古谷中將は野口少佐操縱の乙式機に搭乘先頭に進み乙式七機二編隊、甲式三機三編隊は德川大佐の偵察機に率ゐられ二十五機鳳翼を連ね多摩川右岸に沿ひ品川灣上に出で、それより空中陣形を整へ代々木練兵場の陸軍觀兵式飛行演習中の上空で空中分列式を行ひ十時五十分所澤に歸還した

苦力の大集團 夜警と大立廻り

買つた品物の返却から發端 西山會春柳屯で

市外西山會春柳屯小侯家溝東亞土木苦力楊壽公（三七）は去る三日午後六時ごろ附近の雜貨商馬應擧方にて小洋二十三錢で油を買つたが、後に至つて二十三錢は高いとの口實のもとに品物を返し、その代金の拂戻しを受けんとした際、楊は鐵棒を以て脅迫し更に金を强要したるため、馬は大いに驚き戸外に飛び出して警笛を吹き鳴らし救ひを求めたので、附近を見廻り中であつた夜警李文財（二〇）は外一名と共に駈つけ楊を縛り上げたところへ更に

警笛を 聞きつけて來た現場監督の邦人の仲裁により事なきを得たが、楊は歸宅後九時ごろに至りその腹いせに同僚の苦力約六十名を引連れて大擧侯家溝の夜警小屋を襲ひ、夜警勤務中の李文財を縛り上げて小侯家溝北方に拉去し「この村には絶對夜警は入れない」と散々袋叩きにしたうへ一同引揚げた、これがため同地の夜警團員は苦力の壓迫に警戒するものなく部落民は何れも恟々としてゐるが、沙河口署では直に主謀者楊壽公を引致すると共に苦力の警戒に努めてゐる

神馬　小倉圓平氏筆

遼陽消防隊 出初式

きのふ擧行さる

【遼陽特電六日發】遼陽消防隊では六日午前十時二十分から恒例により出初式を擧行し聖德會附屬警防組も參加した、定刻に至るや長山警察署長は菊地警部以下の監督者を從へて臨場し、人員器具の點呼を行ひ一場の講評をなし終りて公會堂裏に設けた高櫓に放水試驗をなし午前十一時終了、正午から附屬地の支那料理店において祝宴を開いた

放火邦人公判

【シャートル四日發電】昨秋ポートランド、ホテルを灰燼に歸せしめたうへ十一名の燒死者を出した放火事件の犯人として告發されたタコマ在住日本人高山佐吉は來る一月廿七日謀殺致死罪として公判に附せらるゝ事となつた

兵隊さんがスケートの練習

雪や氷の行軍には必要…と 柳樹屯旅團の新試み

雪や氷の上を行軍するにはスケートの素要なくてはならぬと今度柳樹屯駐屯軍で新しい試みとして兵士にスケートを教授することゝなつたが、さて教官はといふに、何れも内地育ちでスケートの心得ある者は一人もない、そこで先づ教官をつくる必要から六日下士十名が來連、滿洲體育協會の林田學氏を教官に鏡池において汗だくで猛練習を開始した（寫眞はコーチをうける兵隊さん）

支那人の相續權を證明 醜い遺產爭ひ緩和

關東廳管下置籍者に福の訪れ

皇恩洽く新春を迎へて關東州内外在住邦人は一齊に聖代の光被に感銘したが、茲にわが關東廳管下にある支那人にとつて、舊來の複雜なる家族制度の缺陷が招來する遺產相續の手續上の煩瑣が一掃せられ、極めて

簡單に 遺產相續者が安全に其相續權の證明を得るといふ新しい光明が齎されることになつた即ち從來關東廳管下の各民政（支）署では從來管内に戸籍を有する支那人から遺產相續による不動產の相續登記を申請する場合においては、管内警察署よりの遺產相續權を證明する書類を添付せしめて、之が移轉登記を爲さしめてゐたが各警察署におけるこの遺產相續權證明書の下附に關する取扱は區々別々にして、本來警察署の職務範圍としては當然戸籍吏に於て取扱ふべき遺產相續を證明するに足るべき書類の作成權限なく、且州内居住の支那人間の相續については今日尙地方的慣習に基き相續人の身分一定せず、更に功利主義に即する支那人の相續はわが國のそれの如く家系主義をとらず、單に遺產相續のみに重きを置く關係上、しばしば巧妙なるトリックを弄して虛僞の相續者を捏造して官憲を欺罔する等、各官衙に於いても之が取扱ひにほとほと手を燒いてゐたものであるが、昨秋旅順民政署よりの諸問に對し通牒署においてこれを内務局長に

上申の 結果、議纏に至り旅順署を始め各警察署に對し通牒を以て各民政署管内に原籍を有する支那人の遺產相續に依る不動產登記申請には各警察署長は戸口調查簿により身分關係を闡明にする證書を作成してこれを當該相續者に交付し、確實な戸籍をもたぬ支那人の便宜を計る樣との各民政署を通じて取扱上の統一的通牒ありこれにより從來遺產相續に關して種々の同族爭を釀してゐた支那人の醜い遺產を繞る爭鬪は

大部分 緩和されると共に各民政署の手數も省けるわけで、管内支那人にとつての一福音であるといはれてゐる

交通事故を嚴重に取締る

事故發生者はきつい處分に 沙河口警察署が

この一、二月間の大連市内は路上凍結その他によつて自動車の正面衝突、通行人轢傷等に交通事故激增し百鬼夜行さながらの交通地獄を現出してゐるが、これに鑑み關東廳では市内各警察署に對しこれが事故を未前に防止すべく取締方を示達して來た、よつて沙河口署では交通取締を一層嚴重に行ふと共に事故發生者に對して嚴重なる處分をなすことゝなつた

ラジオ界にもトーキー進出

今後六十日以内に 桑港から全米へ放送する

【サンフランシスコ四日發電】サンフランシスコ・ケムパー・ラジオ・コーポレーションは本日今後六十日以内に米國全土に向つてトーキー放送を開始すべく準備成れる旨を發表した、右放送局は當市に設けられ受信者は現在所有するラジオセットに映寫設備を敷設すれば足るのであつてその費用は百弗以内で濟む筈である、この放送はラジオ・トーキング・ムーヴイと稱せられ受信者は從來のラヂオ聽取裝置から演說や音樂を聽くと同時に同社新工夫のプロゼクターから高さ十二インチ、巾十四インチのスクリーンの上に投寫される放送活動寫眞を見る事が出來るのである、なほスクリーンは遠からず擴大され漸次普通映畫の如く大勢で見られるやうにすべく研究中であると

馬と思ひ出（中）

石森延男

○

御料内は、御料牧場だ。小學校の遠足の時、よくそこへつれられていつた。何百頭ともしれない馬の群が、楡の大木の下で、芝生の上に遊んでゐるのは、子供ながらにたのしくみえた。

何種とかいふ農事用の馬が居てそれは、日本でも珍らし大きな馬だときいた、それが車をひいていつたあとへいつて、その馬の土に印した足跡をみて大きいのに驚いた。

「おい、おいらの掌がなんぼはいるか集めてみろ」

かういつて、私はしやがんで、二つの掌をならべて足跡の一部をふさいだ友だちがその次々に掌をならべ、五六人が、重なるやうにかたまつて足跡を弄そんだ。

案内人であつたか、番人であつたか、こんな話をしてきかせた。

こゝらあたりには、熊が出てきて馬を食ふなんてことはないが、奥地の方へゆくと、いくらもとられてしまふ。熊がやつてきたといふことがわかると、馬は、皆一ところに集つて、頭をくつゝける、そして、放射狀に圓くより合ふ。そして熊が喰ひかゝらうとすると後脚で蹴りあげる。かうして、團結して、身を護る天性を持つてゐる。といふ話。

私はなるほどいゝ考へだなと感心した。

○

馬の足跡で思ひ出した。

I氏といふ町の富豪が居た。その妹が、國文學のお稽古に私の父のところに通つてゐた。父はよく紫式部とその妹との才をならべ讚してほめてゐたが、[illegible]になつて死んでしまつた。

I氏はその後も時々、私の家に遊びに來た。その時は必ず馬に乘つてきた、つやつやした背の高い賢さうな馬だつた。

I氏は、革の長靴をぴかぴかに磨きあげて、鞭をひよいとその長靴の川にさしこんで、銀色の拍車をかちやかちやと響させた。

父と話をしてゐる間、その馬は庭の杏の樹につながれる。近所の子供たちは、この馬がくると言ひ合はせたやうに集つてきて、毛がいゝとか、耳がとがつてゐるとか何を喰つてゐるんだらうとか、あの尻尾が一本ほしいとかわいわい話した。

私はそんなことより、足跡が氣になつてしようがなかつた。杏の樹の周圍は、お庭だ。小梅の苗木があり、紫露草があり、時鳥草が咲いてゐた。柔かな黒い土で、うぶ生のやうな香がしつとりしてゐた。朝も夕も私は、この庭を心して掃き掃除しゐた。そこへこの大きな馬が悠然と踏みこんでくる。主人の歸るのを待ちわびてか、馬は、折々前脚で土を蹴る。その度に、そこへ穴があいて土がとぶ。

父とわかれをつげて、主人は、輕々と馬に乘つて、歸つていく。

私は、美しい庭の土がひつかいた駿馬の足跡をうらめしくもおもつた。

オイ何をグヅグヅしてゐるんだ早く退いて呉れッ

オイ何をぐづぐづしてゐるんだ早く行かう

日大生十二名 針ノ木で遭難す

雪崩れに襲はれて

【東京七日發電】日本大學山岳部員初見一男（三）の一行十二名は舊臘二十六日針ノ木に登山し、大澤小屋を根據として一昨年早大山岳部員二十餘名が雪崩に襲はれ中四名が慘死を遂げた日本北アルプス針ノ木の雪崩を研究すべく右遭難地點に於てスキー練習中、二日午前十時ごろ突如一行は大雪崩に襲はれ十二名全部雪に埋められ全く身體の

自由を 失ふに至つたが、幸ひ萬一を警戒して十二名が密集してゐた爲め互に死力を盡し身體を近寄せ一塊りとなつて排雪に努めた結果、午後四時に至り遂に全部救ひ出され辛うじて大澤小屋に辿りついたが一行中には全身に凍傷を負ふたものもあり手當を加へたうへ三名だけは四日夜松本に下山、それより五日朝六時四十分歸京したが、北アルプスで本年最初の遭難である

回々教徒の新年祝賀會

【東京五日發電】ロシア革命の慘禍を逃れ果敢なき漂泊の旅を續けること十年、日本に亡命してゐる回々教徒八百名は四日午後五時から明治神宮裏千駄ケ谷會館で在日本回教徒最初の新年祝賀會を開いた、日ごろ羅紗賣、雜貨賣と行商の生活に戰ひ疲れた人達にも喜びはあまねく集まる者三百餘名、餘興の素人劇に打興じて夜もふける十時ごろ散會した

東京物理學校長 中村精男博士

【東京五日發電】東京物理學校長理學博士中村精男氏は三日午後四時十分同校内にて突然腦溢血を起し遂に逝去した、享年七十六歳 氏は山口縣萩出身で東京帝國大學理學部卒業後内務省氣象觀測所技師、中央氣象臺技師を歷任し、明年三十年現在の物理學校を創設して自ら校長となり、現に帝國學士院會員、萬國理學會員たり、我が國氣象學及び物理界に盡したる功績は多大である 六日午後二時より同校で告別式執行の筈である

相生氏の葬儀

けふ執行する

故相生由太郎氏の葬儀は七日午前十一時播磨町自邸を出棺、零時大連商議に到着し樓上に於て告別式を執行するが一般告別式は午後二時から三時まで、この間に燒香を終り午後三時斎場に向け出棺の豫定である、なほ福昌公司では當日の葬儀を活動寫眞に收め永久に相生氏の功勞を記念することゝなつた

早大優勝す

東京箱根間の驛傳競走に

【東京五日發電】東京、箱根間九大學驛傳競走は四、五兩日にわたり行はれたが、往復合計十三時二十三分二十九秒の新記錄を以て早大が優勝した、二着明大、三着中央、四着慶應、五着法政である

けふのラヂオ

昭和五年一月七日（火曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式各地相場）

自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース

自午後六時 ニユース

自午後六時二十二分（内地中繼）

一、講演 新年行事の歷史的意、文學博士中山久四郎

二、河東節 一、七草、二、霞の島 酒井把一作詞、十市作詞 淨瑠璃山彦小文次、三味線山彦秀子、上調子山彥八重子

三、獨唱 一、砂丘の上、寶生還生作詞、小松耕輔作曲、二、月のカランコリヤ、柳澤健作詞、弘田龍太郎作曲、三、水、三木露風作詞、宮原禎次作曲、四、女〇尾須磨作詞、宮原禎次作曲、五、たゝへとしらべよ歌ひつれよ、三木露風作詞、山田耕作々曲、六、近江荒都を過ぐるの時 柿本朝臣人麿作歌併返歌、菅原次朗作曲、伴奏 荻野綾子、澤崎秋子

四、講談 次郎長外傳、森の石松 第一龍神田伯山

以下大連放送局より

五、料理 六、天氣豫報

戀と地獄（4）

三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

秘密書類（四）

その時、社長もつと時間に氣がついたものか、頭を帳簿からもたげて、俯向いてゐたので充血してギヨロリとした目で壁の時計を振り返つた。そして黄色つぽい馬のやうに長い顔を證三の方へ向けて陰氣臭い聲で言つた。

「お〻、もう四時すぎてゐるんだね——だが藤田君、今日は五時まで居殘りをして帳簿整理を助けて行つてくれないかな？」

證三はわれ知らず顔をしかめた。彼は言ひ憎さうに——

「いつもなら拘ひませんが、今日は——」

「今日は？」

と社長がまた陰氣臭い聲で訊いた。

證三の今日の用向は説明し兼るものだつた。官憲の目を今度こそはやつと逃れて牛込細工町の女髪結の二階に身を潜めこのモグリ出版屋の事務員として折角口を糊するだけの代を得てゐる身である。若し社長に自分がどんな人間でどんな會合に行かうとしてゐるかだと話したなら、明日から再びあの泥を嚙む飢の世界へ陷込まねばならぬのだ。

彼は口から出任せに言つた——

「ええ、五時から縣人會がありますので——」

「縣人會——成程ね、若い人達は暢氣だ。寄合つて、牛肉を食つて酒を飲むことばかり考へてゐる——」

社長は別に皮肉らしくもなく言つて、

「ぢやあ仕方がない……その代り君、社の仕事のプロパガンダをやつてくれ給へよ。ネ、教育に關係してゐる人もあるだらう」

社長は大デスクの抽出しを開けて趣意書を摑み出して證三に渡した。證三は規則書を疊んでポケツトにねぢ込んだ。

「ぢやあお先きへ失禮します」

社長は默つたまゝうなづいて見せた。また厚い帳簿の上に屈み込んでしまつた。

證三は鳥打帽子を冠つて、大きな洋傘を持つて階下へ下りて行つた。客のない理髪屋の店では今日は無愛想な親方の姿は見えず、職人が二人パチリ〳〵將棋を指してゐた。

「降りますなあ、藤田さん」

と、年かさの頭だけ商賣柄でテカ〳〵に光らせた男が言つた。

「降りますね……左様なら！」

證三はさう言ひ捨てゝ、小止みもなく降る雨にすつかり濡れ腐つた通りへ出た。道は靴がもぐる位にぬかつてゐた。

指定された集會所の裏町の汚い蕎麥屋に證三が着いたのは、初夏の日も雨なので暮れ足が早く、もうあたりが薄暗くなるころであつた。證三が懸念して來たやうな私服巡査の張込もないらしかつた。青年は濡れしよぼれた洋傘をつぼめて、これも濕氣を受けた陰氣つぽく重たい暖簾をかゝげた。

「活版の人達の寄合は此方ですか？」

彼ははじめて大きな冒險に從事するもののやうな胸騒ぎを感じながら中に向つて言つた。

「いらつしやい！」

と、ぼんやり店の上り框に腰を下してゐた小婢が前掛に手をくるむやうにしたまゝ言つた。

「どうぞ二階へお上りを——」

店はづれの、すぐ梯子になる上り口には古びた下駄や泥まみれの靴がもう四五足ぬぎ捨ててあつた。

先輩はもう來てゐるであらうか？證三も泥で作つたやうな靴をぬいだ。そして梯子段を踏んで上つた。

二階の小部屋は、集つた連中がひどい喫煙家だと見えて濛々と煙の籠りで一ぱいだつた。

粗末なチャブ臺を圍んで四人の青年は、新たに證三がはいつて行つた時、一齊に警戒的な視線を向けた。證三は默禮した。その中の三人は先輩の家で二三度顔を合せたことのある男だつた。一人は此の社會で雄辯で聞こえてゐる大山といふ青年で、まだ名乘り合つたことはなかつた。

「此の人は？」

と、大山は證三がチャブ臺の傍に坐つた時、仲間に説明を求めるやうに言つた。

「此の人は藤田君——」

と、根岸と呼ぶ男が言つた。

新刊紹介

▲滿蒙支那月誌（十二月號）前號に續く里見甫氏の「訓政時期の國民黨及國民政府」（二）は堂々六十二頁の大論文他に「上海の小報に關する一考察」「支那官論界に於ける滿洲問題」等有益の文字である（定價五十錢上海滿鐵事務所發行）

▲近世實錄全書　一般大衆物から講談の種本たる所謂「寫本物」の聚大成を期する本全書は、單なる興味中心以外に德川三百年の各時代に於ける風俗習慣社會家庭經濟事情を初め旅中の狀況一般民衆の思想感情信仰等凡ゆる方面に亘つて躍動たらしめる寫實鏡たり得るものである。本全書の鑑選は坪内博士、編纂は河竹繁俊の擔任であるから遺憾はない、第一卷は「原始の記錄」として「唐人殺」「姫路騷動」等合計八篇を集錄してゐる（豫約出版全部二十卷東京市牛込區早稻田早稻田大學出版）

▲滿洲通信俳句會報（第四號）滿洲連盟を目的として發會した同會は創刊、内地よりの寄稿もあり異色の發展をしてゐる、本號は恰も卒首に顯せること〻て同人の新年吟あり又次回は滿洲新季題を取入れて「内溫」を募集した、發行所大連市山縣通三一大連俳句會

▲新聞春秋（新春特別號）定價金五十錢　東京市麴町區内幸町一丁目六番地新聞春秋社發行

▲事業開始案内（成功之友社編）小資本の各種利用法を具體的に説明してある（定價五十錢東京神田區錦町朝日書房發行）

▲經濟雜誌（一月號）定價二十錢　札幌市北海道廳内北海道經濟協會發行